



SIC Annual Report 2017

(平成29年度事業報告)

平成30年8月31日



株式会社さがみはら産業創造センター
Sagamihara Incubation Center Ltd.

INDEX

1 インキュベーション施設と入居企業

ーラボ・オフィスー

1 SIC-1	p1. 2
2 SIC-2	p3. 4
3 SIC-3	p5. 6
4 Desk ¹⁰	p7
5 SIC 全体	p8. 9

2 SIC 実施事業

ー経営サポートー

1 企業支援	p10
2 セミナー	p11.12

ー連携・研究開発ー

3 SIC 燃料電池研究会	p13
4 さがみはら表面技術研究所	p14
5 首都圏南西地域連携サポート事業	p15.16.17
6 産業用ロボット導入支援事業	p18.19.20

ー人材育成ー

7 SIC 経営塾	p21
8 SIC 職場リーダー養成塾	p22
9 SIC カイゼン・スクール	p23
10 みんなで一人前の社会人になる研修	p24
11 さがみはら子どもアントレプレナー体験事業	p25
12 SIC アントレ・インターンシップ	p26
13 サガツクナビ(地元企業と学生との出会いをつなぐ)	p27

ー販路開拓ー

14 海外販路開拓支援事業(台湾ビジネスサポート事業)	p28
-----------------------------	-----

ーインキュベーションコンサルタントー

15 運営サポート事業	p29
-------------	-----

3 SIC 会社概要

1 さがみはら産業創造センターの歩み	p30
2 主な事業と開始年度(カテゴリー別)	p31
3 財務状況	p32
4 競争的資金の獲得	p33
5 スタッフ数の変遷	p34
6 支援ネットワーク	p34
7 視察・研修	p35
8 新聞掲載	p36
9 広報紙「かわらばん」の発行	p37
10 株主と役員	p38

1-1-1

SIC-1 (インキュベーションセンター)

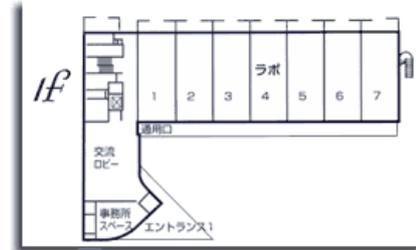
入居対象

<新規創業者>

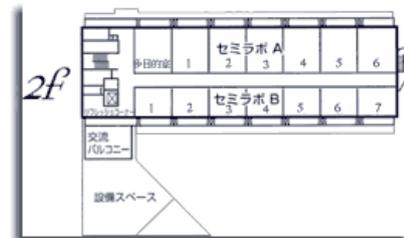
- ・創業準備中または創業間もない企業および個人
- ・研究開発により、新技術や新製品の創出を図り、その事業化を目指す創業間もない企業および個人

<企業>

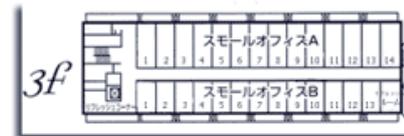
- ・新分野進出により経営基盤の強化を目指す中小企業
- ・研究開発により新技術や新製品の創出を図り、その事業化を目指す中小企業



1階平面図



2階平面図

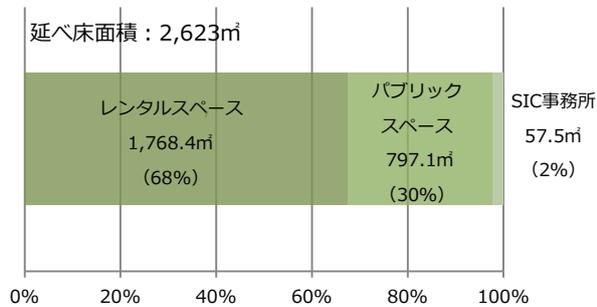


3階平面図

入居期間

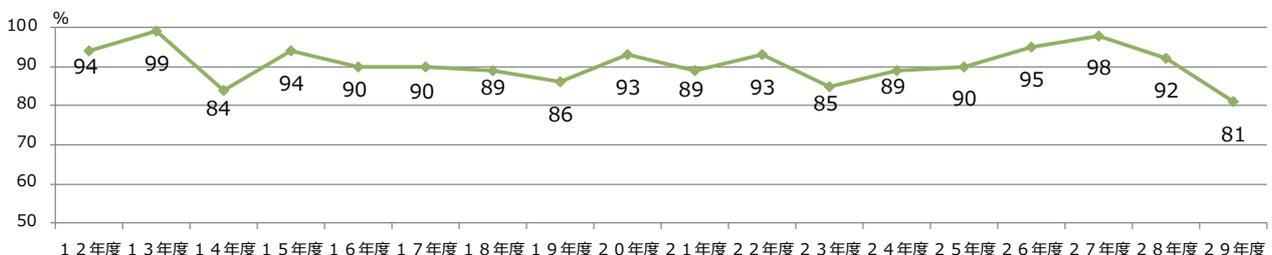
3年間 (2年間の再契約が2回可)

施設概要



	ラボ	セミラボ A	セミラボ B	スモールオフィス A	スモールオフィス B
設置階	1階	2階		3階	
部屋数	7室	7室	7室	12室	13室
床面積	94.5㎡	47.3㎡	31.5㎡	23.6㎡	17.3㎡

入居率 (賃料ベース)

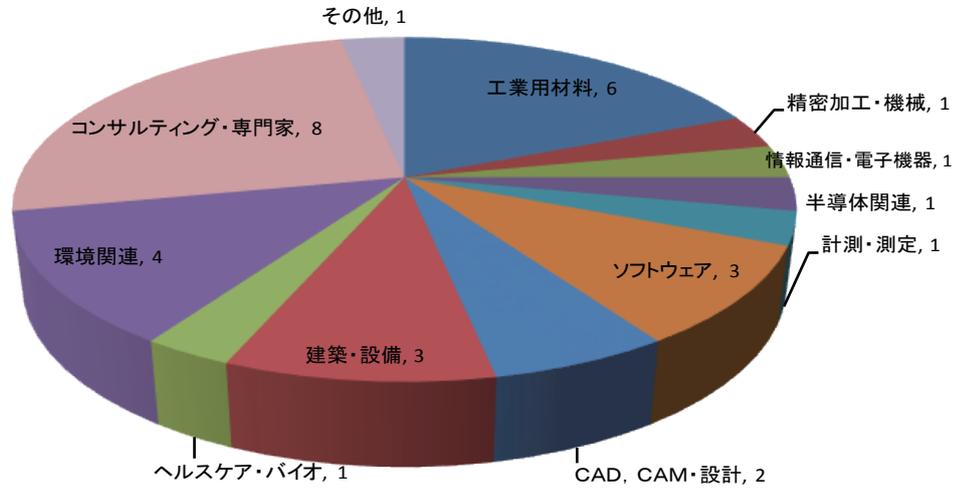


1-1-2

S I C - 1

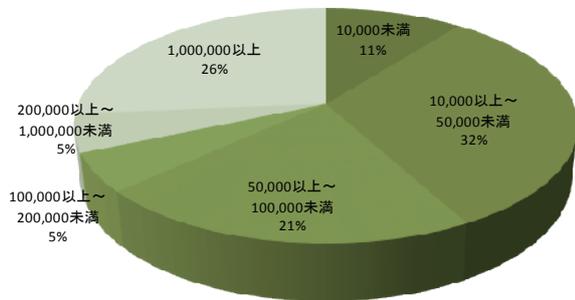
入居企業データ (平成30年3月末)

業種



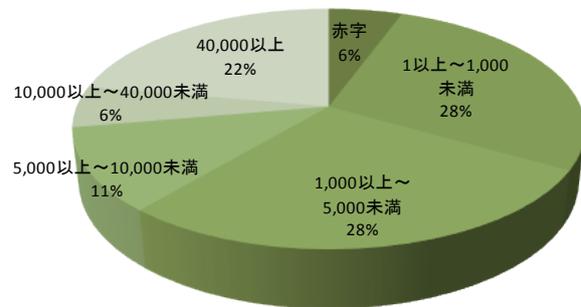
(数字は社数)

売上高



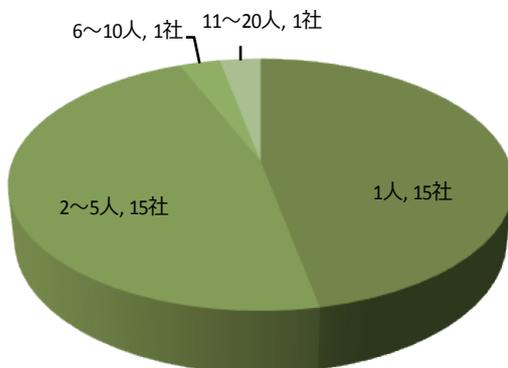
単位：千円

最終利益 (税引き後利益)

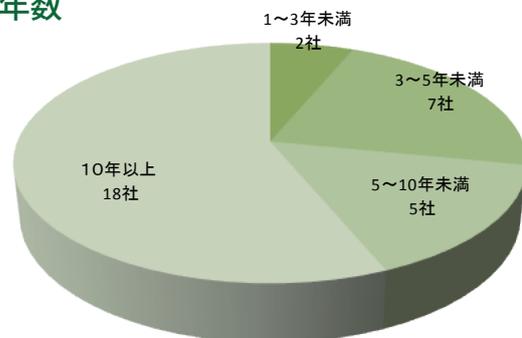


単位：千円

雇用



創業年数



売上高合計 18,859,341 千円
雇用者合計 32社 72人

1-2-1

SIC-2 (ポストインキュベーションセンター)

入居対象

＜企業＞

- ・創業期を経てさらなる規模拡大を目指す企業
- ・新分野進出によりさらなる規模拡大を目指す企業
- ・優れた技術・サービスを保有し、株式公開を目指す企業
- ・企業の研究開発部門

＜産学連携企業等＞

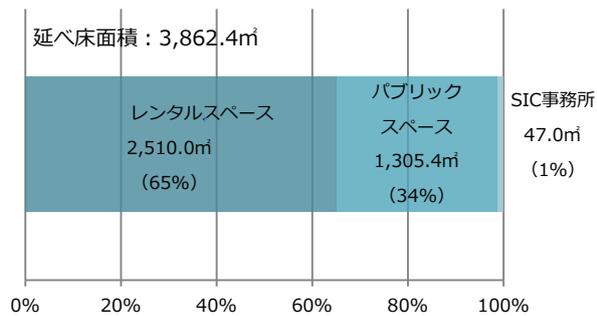
- ・産学連携による事業化を目指し、共同研究開発を行うグループ、企業、研究者等
- ・大学発の技術を活用し、事業化を目指すグループ、企業、研究者等
- ・大学研究室



入居期間

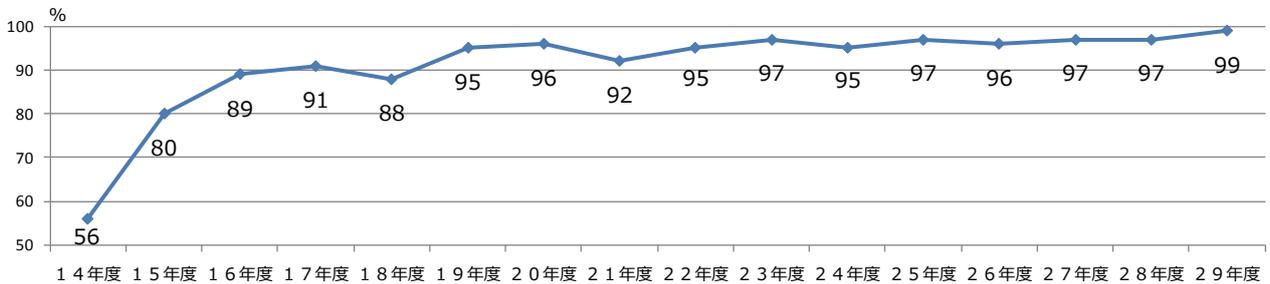
期間制限なし

施設概要



	セミラボ	オフィス
設置階	1～4階	5～7階
部屋数	26室	24室
床面積	50.2m ²	50.2m ²

入居率 (賃料ベース)

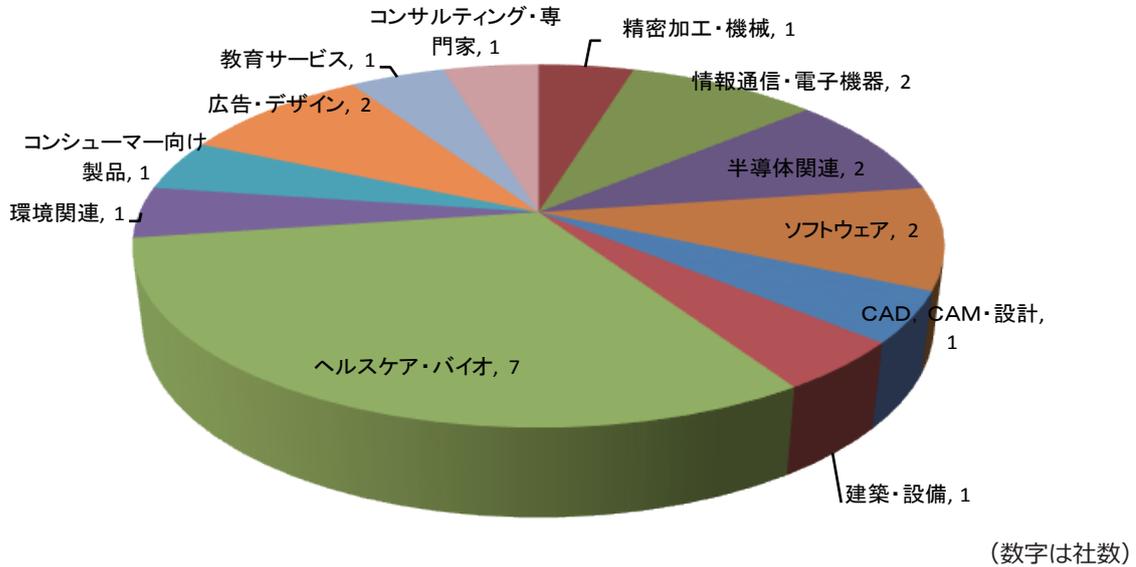


1-2-2

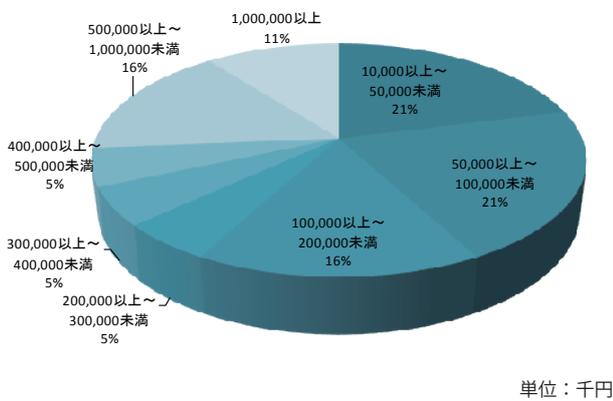
SIC-2

入居企業データ (平成30年3月期)

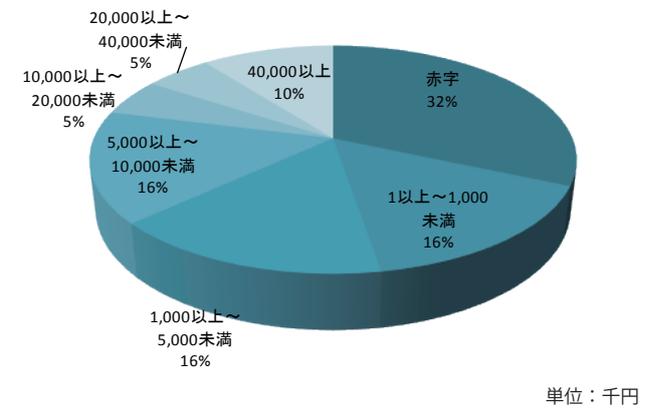
業種



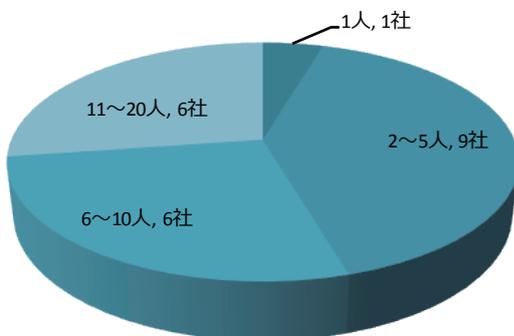
売上高



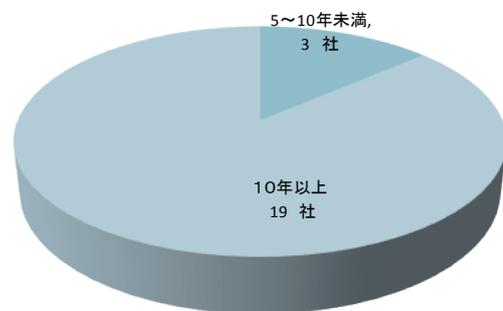
最終利益 (税引き後利益)



雇用



創業年数



売上高合計	13,923,826 千円
雇用者合計	22 社 174 人

1-3-1

SIC-3 (イノベーションラボ)

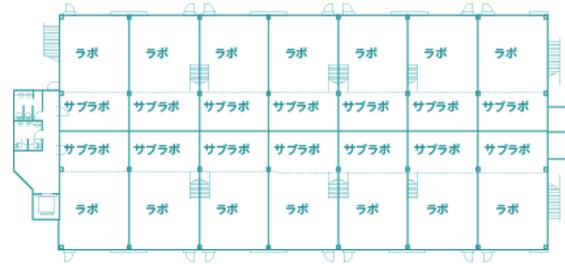
入居対象

<企業>

- ・インキュベーション施設での創業期を経て、更なる規模拡大を目指す企業
- ・独創的な技術により、更なる規模拡大を目指す地域の中小起業

<産学連携企業等>

- ・大学や企業間の連携による事業化を目指して共同研究開発を行うグループ

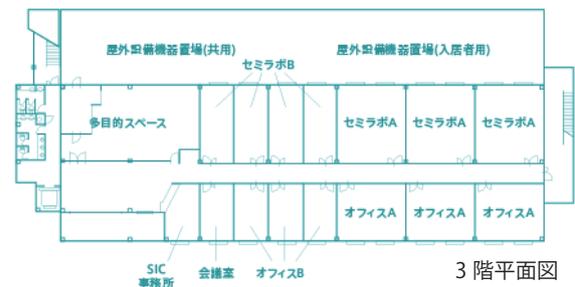
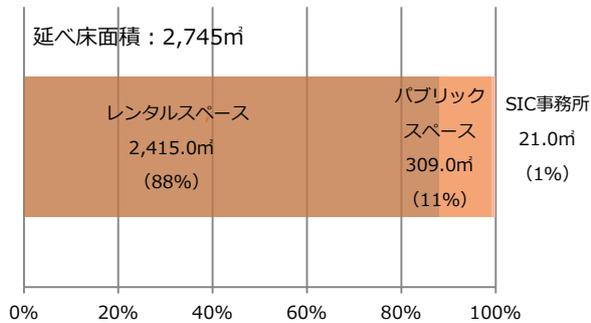


1階, 中2階平面図

入居期間

5年間 (再契約可能)

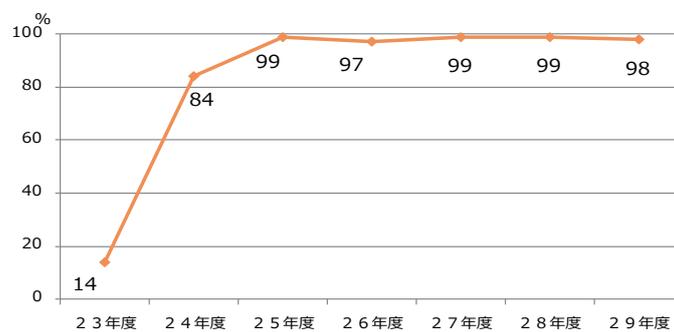
施設概要



3階平面図

	ラボ	セミラボA	セミラボB	オフィスA	オフィスB
設置階	1階 : 中2階			3階	
部屋数	14室	3室	3室	3室	3室
床面積	84㎡ : 28㎡	56㎡	28㎡	42㎡	21㎡

入居率 (賃料ベース)

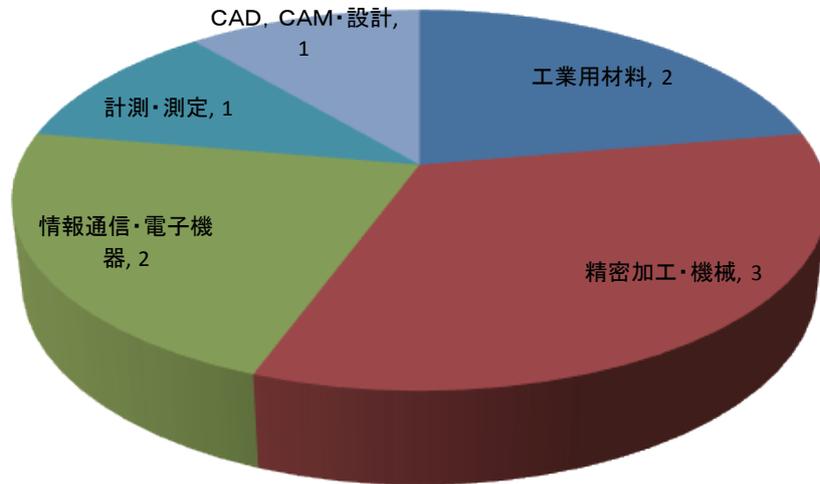


1-3-2

S I C - 3

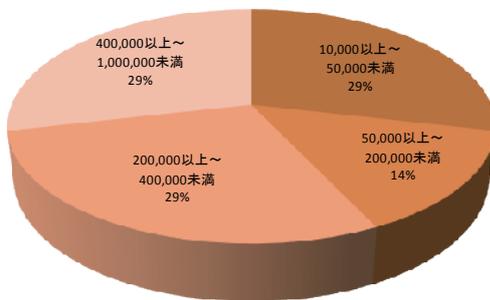
入居企業データ (平成30年3月期)

業種



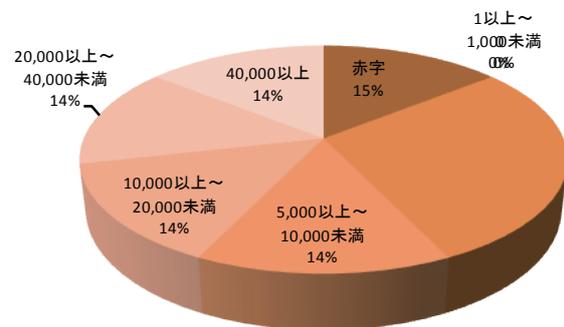
(数字は社数)

売上高



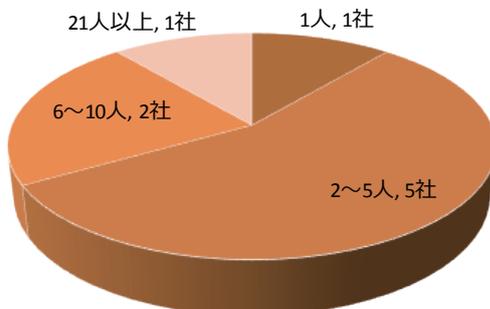
単位：千円

最終利益 (税引き後利益)

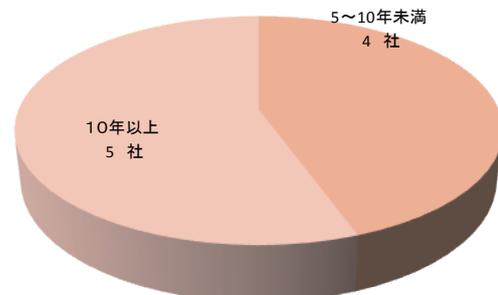


単位：千円

雇用



創業年数



売上高合計 2,747,694 千円

雇用者合計 9社 88人

1-4

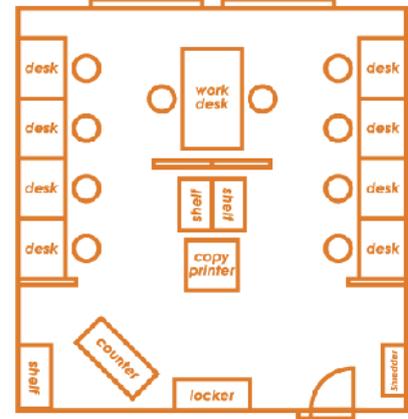
Desk¹⁰ (インキュベーション型シェアードオフィス)

Desk¹⁰とは

Desk10 (デスクテン) は創業者または創業準備中の方などがビジネスに必要な機能を他の会員とシェアすることでオフィスがリーズナブルに利用できるサービスです。事務機器や会議室なども利用できて、住所使用も可能。しかも、サービスを提供するのは18年以上にわたるインキュベーション施設を運営しているSICで、経験豊富なインキュベーションマネージャーも常駐しています。

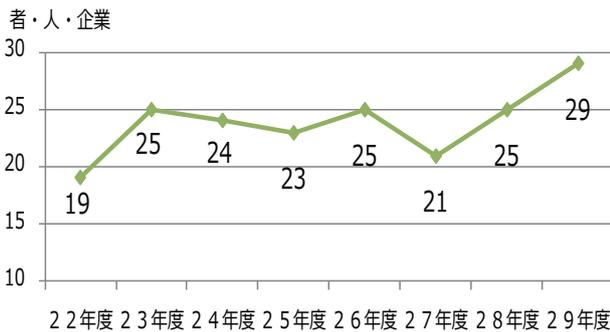
各種サービス

デスク(フリーアドレス)、ワークスペース、オフィス機器、住所使用、専用ロッカー、打ち合わせ・商談スペース、リフレッシュルーム、貸し会議室

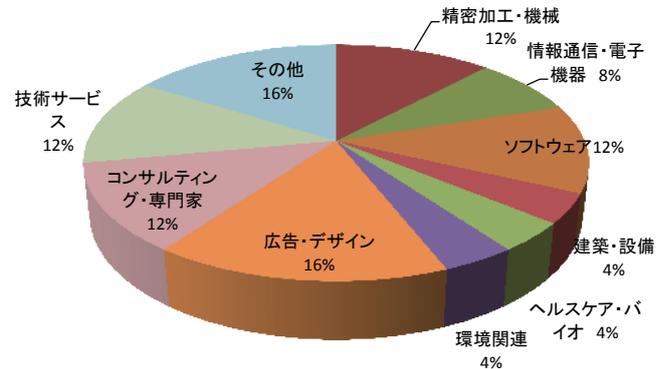


オフィス平面図

入居者数



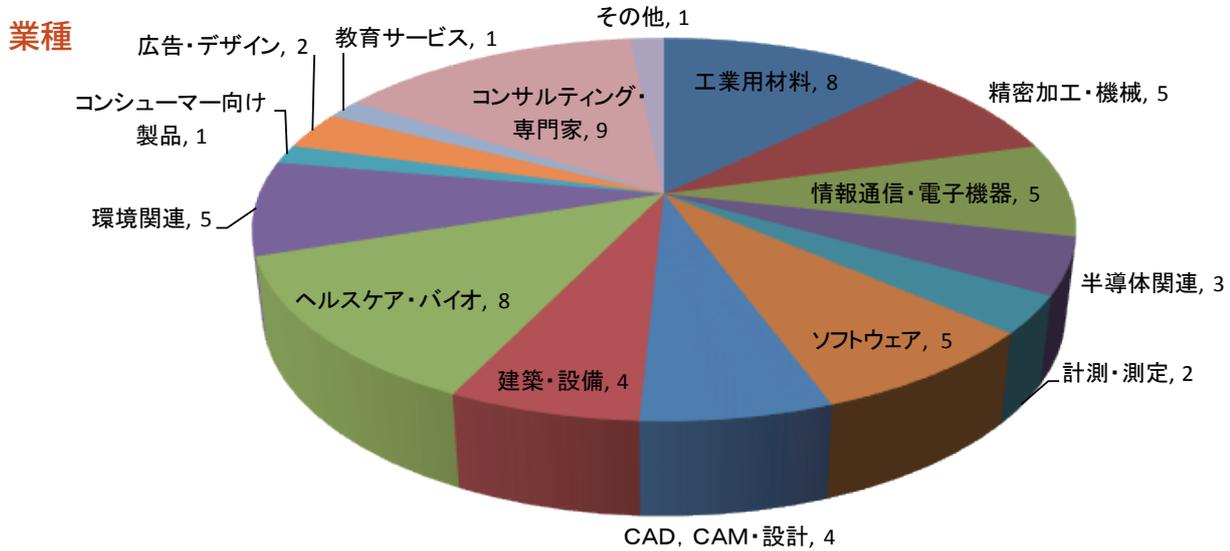
業種



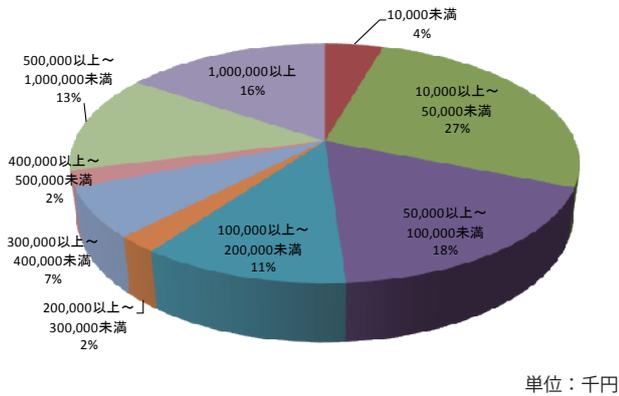
1-5-1

S I C 全体

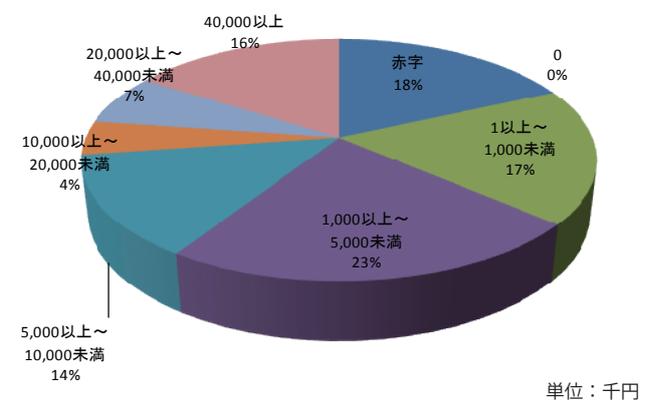
入居企業データ (平成30年3月末)



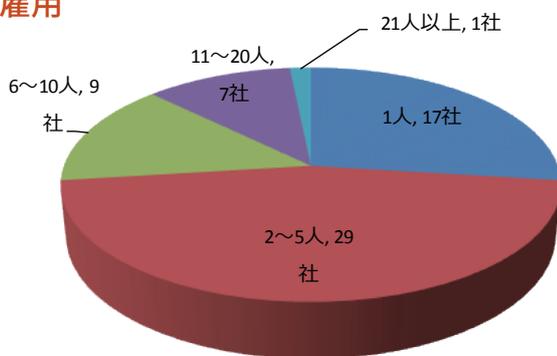
売上高



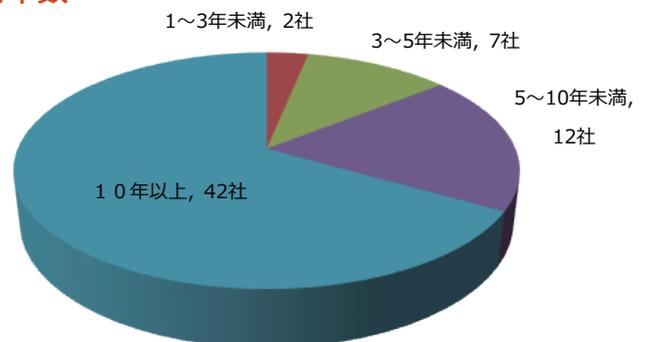
最終利益 (税引き後利益)



雇用



創業年数

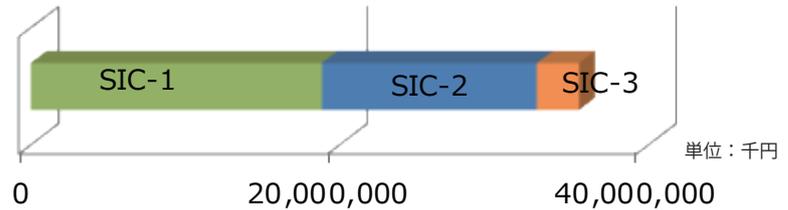


1-5-2

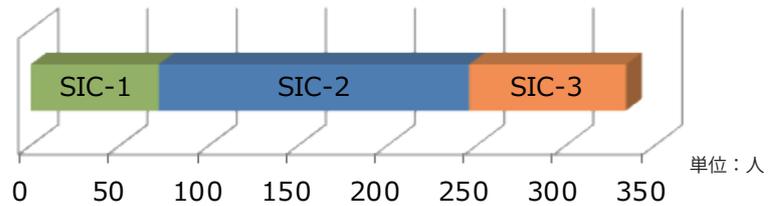
S I C 全体

入居企業データ (平成30年3月末)

売上高 35,530,861 千円



雇用 334 名



知的財産 (平成29年度内)

	特 許		実用新案		意 匠		商 標	
	企業数	件数	企業数	件数	企業数	件数	企業数	件数
出願数	5	12	0	0	0	0	3	8
うち海外	1	1	0	0	0	0	1	2
権利化数	1	1	0	0	0	0	1	3
うち海外	1	1	0	0	0	0	0	0

研究開発補助金 (平成29年度内) 4社 5件

希少疾病用医薬品開発助成金、希少疾病用医薬品事業化支援、小規模事業者持続化補助金、平成27年度補正ものづくり商業サービス新展開支援補助金、平成29年度中小企業経営支援等対策費補助金

展示会出展 (平成29年度内) 11社 28件 (海外開催含む)

人とくるまのテクノロジー展、東京モーターショー、テクニカルショウヨコハマ 2018、セキュリティショー、ワイヤレスジャパン、テロ対策特殊装備展、駅と空港の設備機器展、BioJapan2018、関西バイオビジネスマッチング2018、セミコンジャパン、フォーマジャパン、Sensor Expo 8 Conference、Semicon China、エレクトロテストジャパン、オートモーティブワールド 2018、I D W17、テクノフロンティア、M-TECH(機械要素技術展) 東京、NEPCON SOUTH CHINA、Manufacturing Expo 2017、2017 国際ロボット展、産業交流展 2017、さいたまビジネスアリーナ、国際画像機器展、ALD2017 (国際学会の展示ブースに出展)、TECHNO-FRONTIER2017(モータ技術展)、加速器学会 企業展示会、メドテック、アグリフェア、中小企業 新ものづくり・新サービス、ロボット展等

新製品・新サービス (平成29年度内) 12社 19件

ハロゲン・イオウ受託分析、Tbox、Mbox 国交省、CN-V0230、ソフトウェアバリアフリー診断サービス、AI-guided INTENDD、自動車 ECU テストボード、勤怠管理システム (loungeek)、美容液 (ファイン ルレ プレミアム)、美容液 OEM (プラスイージーエフディ)、LED ファイバー用 LED 光源 SLG-165V、SPX-2007A、150KW インバータ、バルブ検査装置

2-1

経営サポート

企業支援

事業の目的

創業や新分野進出に意欲的な入居企業や地域企業の様々な経営課題を解決する。

▶ 経営課題支援の内容

対 象：入居企業・地域企業

支援手法：インキュベーションマネージャーとメンター、アドバイザー、専門家等が連携した支援

協力機関：八千代銀行（2018年5月より きらぼし銀行）

支援契約数：業務委託契約 14 社、顧問契約 14 社（入居企業 8 社、地域企業 6 社）

支 援 内 容		入居 企業数	地域 企業数	計
顧問契約		8 社	6 社	14 社
業務委託契約	WEB制作	—	4 社	4 社
	会社案内制作	—	1 社	1 社
	サービス案内制作	—	1 社	1 社
	ロゴ制作	—	1 社	1 社
	商品パッケージ制作	—	1 社	1 社
	ビジネスマッチング	1 社	—	1 社
	ISO取得支援	1 社	—	1 社
	特許・商標取得	—	3 社	3 社
	技術指導	1 社	—	1 社
	業務委託契約 小計	3 社	11 社	14 社
合計		11 社	17 社	28 社

2-2-1

経営サポート

セミナー (1)

事業の目的

入居企業や地域企業に経営のヒントを提供する。

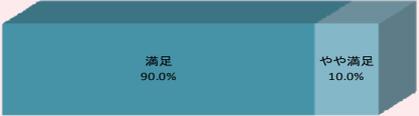
対 象：入居企業・地域企業

実施事業	参加人数	具 体 的 内 容
経営者セミナー	142名	<p>テーマ：ありえないレベルで人を大切にしたら 24年連続黒字になった仕組み — “幸せな会社” の作り方 —</p> <p>講 師：株式会社 日本レーザー 代表取締役 近藤 宣之 氏</p> <p>日 時：平成 30年 2月 14日 (水)</p> <p>場 所：サン・エールさがみはら (ホール)</p> 
ミニセミナー	4名	<p>The HINT 34</p> <p>テーマ：補助金等支援制度の探し方・活かし方 ※相模原市「中小企業研究開発補助金」公募説明会との同時開催</p> <p>講 師：SIC インキュベーション・マネージャー</p> <p>日 時：平成 29年 5月 17日 (水)</p> <p>場 所：さがみはら産業創造センター</p> 
	17名	<p>The HINT 35</p> <p>テーマ：実践！成果につながる“ビジネス・コミュニケーション” ～なりたい自分へ!! 話す・聴く・質問する力を磨く～</p> <p>講 師：株式会社スタンコミュニケーションズ 代表取締役 松尾 由紀子 氏</p> <p>日 時：平成 29年 7月 12日 (水)</p> <p>場 所：サン・エールさがみはら (第1研修室)</p> 
	7名	<p>The HINT 36</p> <p>テーマ：JETRO に聞く!! 海外展開のカタチと支援制度 ～事例で学ぶ設計・開発・デザイン領域での海外展開～</p> <p>講 師：日本貿易振興機構 (JETRO) 横浜貿易情報センター 新輸出大国コンシェルジェ 淵 祐次 氏 PREMIER Engineering 株式会社 取締役 西達郎 氏</p> <p>日 時：平成 29年 9月 19日 (火)</p> <p>場 所：さがみはら産業創造センター</p> 

2-2-2

経営サポート

セミナー (2)

実施事業	参加人数	具 体 的 内 容
ミニセミナー	6名	<p>The HINT 37 テーマ：“偉大なビジネスリーダーの言葉” から経営を考える 講 師：SIC インキュベーション・マネージャー 日 時：平成 29 年 11 月 15 日（水） 場 所：さがみはら産業創造センター</p> 
	13名	<p>The HINT 38 テーマ：そのメール、本当に開いて大丈夫ですか？ ～標的型サイバー攻撃メールの手口と対策～ 講 師：有限会社コウチャ ウェブディレクター 小林 貴子 氏 日 時：平成 30 年 2 月 28 日（水） 場 所：さがみはら産業創造センター</p> 

2-3

技術開発

SIC 燃料電池研究会

事業の目的

燃料電池及び新エネルギー関連分野に係わる産学官連携や企業間連携体を構築し、研究開発成果の事業展開に向けたプロモーションを推進するとともに、展示会などへの出展や情報発信を行うことで、ビジネスチャンスの発掘と事業の拡大を図る。

▶ 事業概要

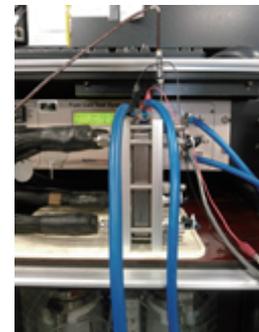
1. 家庭用燃料電池周辺機器開発プロジェクト

- ・家庭用燃料電池『エネファーム』周辺機器開発やシステムメーカーへのスペックイン。

2. 燃料電池システム開発プロジェクト

(可搬型燃料電池システムの開発など)

- ・平成 26～28 年度ものづくり中小企業・小規模事業者連携支援事業(中小企業基盤整備機構・全国中小企業団体中央会)を活用し手がけた「小型可搬型リバーシブル燃料電池システム」の継続開発を実施した。



リバーシブル燃料電池発電試験の様子

3. SIC 低炭素プロジェクト

- ・平成 21 年度経済産業省低炭素社会に向けた技術発掘・社会システム実証モデル事業の応用研究当事業における成果を SIC 水素・燃料電池コンソーシアムに反映。

4. 販路開拓プロジェクト

- ・研究会活動における開発成果や関連する自社製品を市場へと結びつける仕組みを検討。

会員企業及び会員協力企業との連携により用途開発への展開を実施した。日本フィルコン(株)が研究会成果を応用し販売した「自立型水素発電・飲料水供給システム HydroX」のPRを兼ねて、日刊工業新聞社主催の 2017 防災産業展 in 東京へ共同出展した。



「2017 防災産業展 in 東京」出展の様子

▶ 29 年度の成果

今年度会員数：民間企業 9 社 (19 名) 2 大学 1 公設試が参画
(H28 年度 12 社より 3 社退会)

【プロジェクト成果】

- ・平成 29 年度研究会活動概要説明会実施
- ・第 1 回全体合同研究会活動実施
- ・2017 防災産業展 in 東京への出展
- ・第 2 回全体合同研究会活動実施

	大手企業	中小企業	大学・公設試
市内	0	3	0
市外	3	3	3

2-4

技術開発

さがみはら表面技術研究所

事業の目的

地域企業と大学・研究機関の連携・交流機能を整備・運用し、企業の技術的な強みを活かした事業開発に貢献する。

▶ 活動実績

活動内容	
1	技術相談・コーディネート・技術支援等
2	広報活動（講演・ラジオ出演等）



▶ 活動実績 事例

1. 技術相談・コーディネート・研究支援等

- ①ものづくり中小企業・小規模事業者試作開発等補助金に係る補助金（平成 28 年度補正・中小企業庁）では、各中小企業向けに事業計画立案から関わり、申請書の作成まで一貫した支援を行った。また補助事業採択後には、事業進捗アドバイスや補助事業完了後のサポートに至るまで、多岐にわたる業種の中小企業に対して支援を行った。
- ②経営力向上計画申請についての相談・申請支援を多岐にわたる業種の中小企業に対して行った。
- ③市内企業より依頼を受け、新卒の人材採用支援を実施した。
- ④市内企業より依頼を受け、展示会出展時の宣伝、説明員対応の支援を行った。
- ⑤県内企業より新製品開発相談を受け、新素材技術を持つ企業との企業間マッチングを行った。
- ⑥表面加工について実績および知見のある企業に隣接異種表面加工技術を持つ企業を紹介、企業間マッチングを行った。
- ⑦地方独立法人神奈川県立産業技術総合研究所（KISTEC）の新事業の企画・立案に関わった。
- ⑧ロボットイノベーションへ出展し、県内企業をはじめとする関東近郊企業との交流連携、市場調査等を行った。
- ⑨市内中学生の職業体験を受け入れた。事業説明のほか、研究所体験や職業等について考えるアートワークを実施した。
- ⑩都内企業に女性の活躍推進等職場環境整備助成金（東京しごと財団）の申請支援および事業進捗管理支援を行った。
- ⑪都内企業にステップアップ支援補助金（国土交通省）申請支援および事業進捗管理支援を行った。
- ⑫技術開発のため、高度専門技能を持つ人材紹介の依頼を受け、マッチングを行った。
- ⑬人材育成セミナーの依頼を受け、セミナー内容の検討を行っている。（継続案件）
- ⑭東北大学流体科学研究所と共同研究を行い、国際学会（International Conference Flow Dynamics）にて成果を発表した。次年度も継続して、産学官連携のコラボレーションにより実施の予定。
- ⑮戦略的基盤技術高度化支援事業（通称：サポイン・経済産業省）の継続調査の支援と報告を行った。
- ⑯県内企業より各種相談を受け、製品開発支援、職場環境改善となる人材育成の支援等の計画



2. 交流会・広報活動（講演・ラジオ出演等）

- ①立教大学名誉教授・山口義行氏が主宰する、中小企業サポートネットワーク Small Sun 配信のインターネットラジオ「トモリエコのモノづくりサポーターズ」でパーソナリティを務め、様々なものづくり企業を紹介している。（<http://ss-ir.blogspot.jp/search/label>）
- ②学会や各種企業団体での講演に招聘され、表面研の活動を通してオープンイノベーションや事業発展におけるコミュニケーションの大切さ等についての講演を行った。



2-5-1-1

技術開発

首都圏南西地域連携サポート事業（フォーラム）

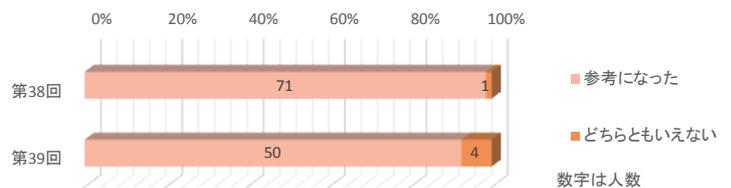
事業の目的

相模原市を中心とした神奈川県県央地域及び町田市、八王子市に広がる首都圏南西地域において、企業、大学・研究機関、金融機関及び支援機関の広域連携の場として首都圏南西地域産業活性化フォーラムを開催し、さらには、産学官連携による分科会・研究会の推進や情報提供を通じ、新事業の創出や技術の高度化などによる地域産業の活性化を目指す。

参加者数

南西フォーラム	
第 38 回	175 名
第 39 回	125 名
計	300 名

顧客満足度



顧客の声

- 【第 38 回】・ロボット産業の集積地や独立拠点都市（ローカルハブ）としての相模原のポテンシャルの高さが感じられた。
 - ・ロボット導入事例の発表を通して、システムインテグレータの役割や育成の重要性を知ることができた。
- 【第 39 回】・IoT は難しいというイメージを持っていたが、それぞれの講演はわかりやすく、理解を深めることができた。
 - ・研究機関が持っている技術を中小企業の潜在的なニーズにつなげていくことの重要性を考える機会となった。

概要

第 38 回 平成 29 年 5 月 25 日

インダストリー 4.0 への挑戦 ～ロボットを活用した地方創生～

- 「今後の地方創生を担う独立拠点都市（ローカルハブ）とは」株式会社野村総合研究所

社会システムコンサルティング部長 兼 公共プロジェクト室長 主席研究員 神尾 文彦 氏

- 「ロボットビジネスによる地方創生のモデルケースとしての相模原の可能性」 東京大学 名誉教授 佐藤 知正 氏

- 「生産効率 2.5 倍、受注増加をもたらしたロボット溶接システムの導入」 株式会社第五電子工業

- 「ロボット導入の成果は品質向上と社員のカイゼンに対する意識改革」

株式会社広和産業・大沢工業株式会社（ロボット Sler）

- 「フォーラムを振り返って」株式会社野村総合研究所

社会システムコンサルティング部長 兼 公共プロジェクト室長 主席研究員 神尾 文彦 氏

第 39 回 平成 29 年 11 月 8 日

業種も規模も関係ない！今日からできる！！“IoT” はじめの一步

- 「生産性向上のための改善活動と IoT の考え方」青山学院大学 理工学部 経営システム工学科 教授 松本 俊之 氏

- 「安い！早い！簡単！常識外れの IoT モニタリングサービスができた理由（ワケ）」旭鉄工株式会社／i Smart Technologies 株式会社

代表取締役社長 木村 哲也 氏

- 「かしい金型研究会の取り組み～センサー活用で新たな付加価値の創出！！」株式会社クライムエヌシーデー

代表取締役社長 高橋 啓太 氏

2-5-1-2

技術開発

首都圏南西地域連携サポート事業（フォーラム）

南 西 フ ォ ー ラ ム	○分科会 A 「次世代 Well-being ～個別適合をめざした統合的人間計測・モデル化技術の構築（健康福祉分野）」分科会
	青山学院大学 理工学部 経営システム工学科 教授 熊谷 敏 氏
	経営システム工学科 准教授 栗原 陽介 氏
	情報テクノロジー学科 准教授 LOPEZ Guillaume 氏
	○分科会 B
	B-1 「東京高専における IoT 活用事例と産学連携体制・社会実装教育」
東京工業高等専門学校 副校長 鈴木 雅人 氏	
教育コーディネータ 出口 良 氏	
B-2 「安全・快適なエレクトロニクス技術の探究」	
神奈川工科大学 創造工学部 ホームエレクトロニクス開発学科 教授 金井 徳兼 氏	

2-5-2

技術開発

首都圏南西地域連携サポート事業（分科会）

事業の目的

相模原市を中心とした神奈川県県央地域及び町田市、八王子市に広がる首都圏南西地域において、企業、大学・研究機関、金融機関及び支援機関の広域連携の場として首都圏南西地域産業活性化フォーラムを開催し、さらには、産学官連携による分科会・研究会の推進や情報提供を通じ、新事業の創出や技術の高度化などによる地域産業の活性化を目指す。

参加者数

IoT分科会

第1回	12名
第2回	12名
第3回	16名
計	40名

	開催日	場所	内容
IoT分科会	第1回 平成29年10月25日	さがみはら産業創造センター	<ul style="list-style-type: none"> ・基調講演「IoT/ データ活用による価値創造の本質とその方法論」 ・今後の進め方
	第2回 平成30年1月15日	さがみはら産業創造センター	第1部 <ul style="list-style-type: none"> ・SIC内水耕栽培実験装置 ・SIC2Fバルコニー大根栽培 第2部 <ul style="list-style-type: none"> ・基調講演「プロセス改革の価値」 ・参加者からのIoTに関する現状（課題）などの紹介 ・今後の進め方
	第3回 平成30年3月8日	市内中小企業 さがみはら産業創造センター	第1部 <ul style="list-style-type: none"> ・中小企業訪問・工場見学会 第2部 <ul style="list-style-type: none"> ・相模原地区の取組状況報告・相談
ワーキンググループ			
第1回 平成29年5月14日、第2回 平成29年7月7日、第3回 平成29年9月28日、 第4回 平成29年12月14日、第5回 平成30年2月26日 開催場所：サレジオ工業高等専門学校 内容：精密農業向けIoT技術開発について			

2-6-1

技術開発

産業用ロボット導入支援事業

事業の目的

ものづくり中小企業を中心とした相模原市内企業への産業用ロボット導入支援を通して、人手不足等の経題を抱える企業の生産性向上等を図る。また、市内におけるロボット関連企業の育成や集積等に取り組むことにより、ロボット産業の創出を通じた地域産業振興を図る。

概要

(1) さがみはらロボット導入支援センター

SIC-2 セミラボ内に設置している「さがみはらロボット導入支援センター」で、産業用ロボットの展示、簡易相談及びロボット操作教育などを実施。

○来所者実績（平成 29 年 4 月～平成 30 年 3 月の 1 年間）
延べ 378 団体・1,195 名（内、製造業者：232 社）

○ロボットシステム 6 システム設置・展示



(2) ロボット導入を具体的に検討する企業向けの相談・コンサルティング

産業用ロボット導入が進んでいない工程への導入を支援するために、ロボット導入を検討する企業への簡易自動化相談及び自動化診断などの活動を実施。

活動内容	企業数	市内企業数	市外企業数
簡易自動化相談 さがみはらロボット導入支援センターでの相談	26社	14社	12社
自動化診断 工場の自動化診断を経て、ロボットによる自動化システム、作業改善・工程改善による生産性向上施策などの提案	4社	1社	3社
開発を伴う案件の相談・コンサルティング	6社	4社	2社
産業用ロボット導入企業の事例調査	15社	15社	—

(3) カイゼン支援事業

中小製造業の技術者を対象に自動化や省人化を進めるうえでの知識や考え方など、中小企業の実産性向上に資するセミナーを開催。

「生産性向上のための IE セミナー」（受講者数：14 社・16 名）

講師：青山学院大学 理工学部 経営システム工学科 教授 松本 俊之 氏

「生産性向上のための VE セミナー」（受講者数：10 社・16 名）

講師：株式会社 RK コンサルティング 代表取締役、公益社団法人日本 VE 協会 CVS、
中小企業診断士 丹澤 一昭 氏



「生産性向上のための IE セミナー」



「生産性向上のための VE セミナー」

2-6-2

技術開発

産業用ロボット導入支援事業

(4) ロボット技術者育成事業

中小企業の技術者が産業用ロボット導入に必要な知識及び技術を習得することを目的にセミナーを開催。

「川崎重工製双腕ロボット“デュアロ”の操作体験」(受講者数：7社・7名)

講師：ユーエスディ株式会社 小島 秀一郎氏、川重商事株式会社 浅野 訓宏氏

自動化技術セミナー「画像処理技術の基礎」(受講者数：12社・13名)

講師：三菱電機株式会社 FA システム事業本部 機器フィールドエンジニアリング部
アプリケーション技術グループ 小笠原 忍氏

「ORiN を活用した DENSO ロボットアームの操作講習」(受講者数：10社・10名)

講師：株式会社メディアプラス 太田 弘一氏

「ロボット導入に新たなコンセプトをご提案！！オープン開発環境による人と協働するロボットシステムの最新動向」(受講者数：12社・14名)

講師：KUKA Japan 株式会社 セールス・メタル&アーク・営業技術 担当マネージャー 安藤 浩司氏
株式会社メディアプラス 代表取締役 金沢 勇氏



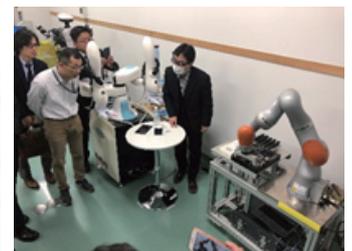
ユーエスディ (株)



三菱電機 (株)



(株) メディアプラス



KUKA Japan (株)
(株) メディアプラス

(5) システムインテグレータ育成事業

システムインテグレータ及びその候補企業等の育成を目的として実施したシステムインテグレータ育成事業では、オープンソースによるロボット制御プログラミングの先進的な知識と開発能力の企業間における共有を目指し「さがみはら HSR 社会実装研究会」を組成、トヨタ自動車株式会社製の生活支援ロボット“HSR”に関する共同研究開発を支援。

- セミナー等でのデモンストレーション (さがみはら IT 協同組合定例会、ロボット操作教育 特別セミナー)
- 2017 国際ロボット展への出展 (平成 29 年 11 月～12 月、東京ビッグサイト)
- 特別養護老人ホームでの実証実験 (平成 30 年 2 月、社会福祉法人相模福祉村「縁 JOY」)
- トヨタ自動車株式会社主催「HSR ユーザ会」への参加 (平成 30 年 3 月、トヨタ自動車(株)名古屋オフィス)



HSR 実証実験



HSR セミナー

2-6-3

技術開発

産業用ロボット導入支援事業

(6) システムインテグレータ育成プログラム検討事業

システムインテグレータとそこに従事するロボットエンジニアが産業用ロボット導入に必要な不可欠な存在であるにも関わらず圧倒的に不足している状況を解決するために、専門人材の育成に必要な高度教育について、検討を進め、下記のフォーラムや養成講座を実施。

○産業用ロボットビジネスフォーラム「“ロボットビジネス”でチャンスをつかみませんか？」(参加者数：165名)

日 時：平成 29 年 10 月 30 日 (月)

場 所：サン・エールさがみはら

内 容：基調講演『産業用ロボット業界の最新動向と Sler への期待』

一般社団法人日本ロボット工業会 客員研究員 高本 治明 氏

事例紹介①『Sler 事例紹介 -事業としての Sler-』 株式会社バイナス 取締役営業部長 下間 篤 氏

事例紹介②『Industry4.0 時代のロボットシステムと Sler への期待』

KUKA ロボティクスジャパン株式会社 代表取締役 星野 泰宏 氏

『相模原市での取組紹介』 相模原市産業政策課、さがみはらロボット導入支援センター

『フォーラム総括』 経済産業省 製造産業局 産業機械課 ロボット政策室 小林 寛 氏

○ロボットシステムインテグレータ養成講座(受講者数：16社・22名)

期 間：平成 30 年 2 月 6 日～27 日(全 4 回)

場 所：さがみはら産業創造センター、実習先企業

内 容：

	内 容	講 師
第1回	『ヒアリング力』向上講座 『ロボットシステム導入を成功に導くプロジェクトマネジメント』講座	株式会社スタンコミュニケーションズ アイシンク株式会社
第2回	顧客ニーズへのシステム提案① (1) 工場視察・ヒアリング (2) グループワーク	
第3回	ロボットシステム導入手順(RIPS)講座 技術講座①「深層学習による自動化」 公的研究開発プロジェクト提案書作成のポイント	ミツイワ株式会社 千葉工業大学 教授 林原 靖男 氏 東京大学 名誉教授 佐藤 知正 氏
第4回	技術講座②「食品業界への参入について-業界の慣習や法規-」 顧客ニーズへのシステム提案② (1) プレゼンテーション (2) 講評・表彰	大沢工業株式会社 代表取締役 大沢 孝史 氏



フォーラム



養成講座

2-7

人材育成

SIC 経営塾

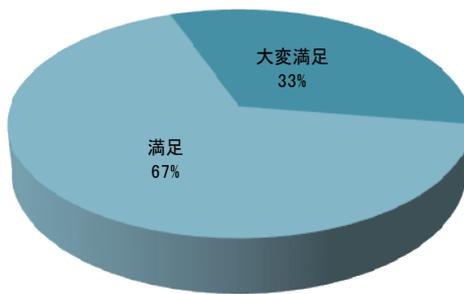
事業の目的

先端的なケーススタディを通じ、経営の理論と実践を学び、塾生自らが事業構想を再構築することにより、「真の経営力」を養成することを最終目的とする。

▶ 受講生

- ・ 9名 累計 156名
- ・ 次世代の経営者や経営幹部の受講生が多い

▶ 顧客満足度



▶ 顧客の声

- ・ 色々な角度から企業のことを知ることができて、大変勉強になりました。
- ・ 今まで、現場重視で業務に取り組んでいましたが、違った視点で業務を見直すとても良い機会になりました。
- ・ 最後のプレゼンテーションで、自分の会社に対する将来像、理想像、経営者としての理想を話すことができ良かったと思います。
- ・ 今まで事業構想を考えた事がなかったので、良いきっかけになりました。
- ・ 9ヶ月という短い期間でしたが、非常に勉強になりました。また、同じ境遇の人達とお会い出来、話し合いをすることが出来ました。
- ・ 短い間でしたが、仲間も増えて共通の悩みなど聞いて大変有意義だったと思っています。

▶ 活動内容

講義

最先端の経営理論を学びます。

- 先端企業経営者の実体験や様々な先進的な取り組み事例を通して最新の経営理論と実例を学び、自社の課題に置き換えて検証します。



討論

塾生、コーディネータとの討議を重視します。

- 課題図書、事例研究を基に、異業種の方々の討論が自社を見つめ直し、自社の事業構想を構築する良い機会となるでしょう。



事業構想の再構築

最終ゴールは自社の事業構想の再構築です。

- 実証的な研究や討論を通し、自社を客観的に見つめ直し事業構想を策定し、自社における「NEXT STAGE」を考えます。



■カリキュラム:

回	課題シート・講義内容
1	オリエンテーション
2-3	わが社の経営の現状を語る(1泊2日合宿)
4	現状を分析する
5	存在意義を問う
6	コアコンピタンスを定義する
7	戦略シナリオを考える
8	財務構造を改善する
9	組織文化の変革を仕掛ける
10	ビジネスプランを練り上げる
11	わが社の経営の将来を語る(自社の事業構想の発表)

2-8

人材育成

SIC 職場リーダー養成塾

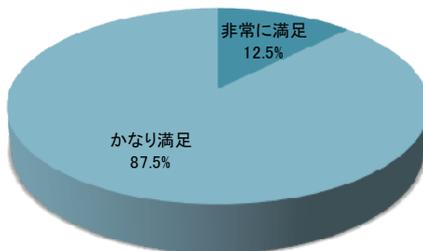
事業の目的

地域企業の中堅層の職場リーダーに対して、業種の異なるリーダーとの他流試合やコミュニケーション研修、社内実践による職場の課題解決を通して、職場リーダーとして求められる「組織で成果を出す力」を養成する。

▶ 受講生

16名 累計 175名

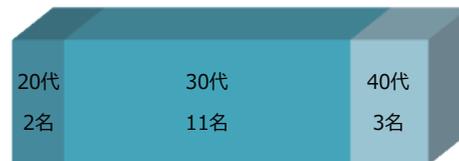
▶ 顧客満足度



▶ 顧客の声

- ・他人の意見を聞く機会が少ないので有意義だった
- ・自分に足りないものが学べた
- ・コミュニケーション、プレゼンの講義もためになった
- ・色々アドバイスをもらえ、仕事に活かしやすかった
- ・周りを巻き込み行動計画を立てながら課題を達成する流れを作ること
- ・人との接し方やコーチング、コミュニケーションの実践方法
- ・他社の方との交流の中で視野を広げることができた

▶ 受講生の年齢構成



▶ カリキュラム

	開催日	内容
1	平成29年6月3日	オリエンテーション・職場のコミュニケーション①
2	平成29年6月13日	課題解決の枠組みを理解する 職場の問題を抽出する
3	平成29年6月20日	
4	平成29年7月3日	職場のコミュニケーション②
5	平成29年7月11日	職場の課題解決①（問題把握、課題設定、目標設定、対策検討、行動計画）
6	平成29年8月上旬	課題解決取り組みフォロー（個別指導：1回目）
7	平成29年9月6日	職場の課題解決②（問題把握、課題設定、目標設定、対策検討、行動計画）
8	平成29年9月下旬	課題解決取り組みフォロー（個別指導：2回目）
—	10月～11月	社内実践期間
9	平成29年11月8日	特別講義（プレゼンテーションを学ぶ）
10	平成29年12月7日	成果発表会



2-9

人材育成

SIC カイゼン・スクール

事業の目的

企業が全社展開し、継続して実施することで経営体質の強化に結びつく“カイゼン活動”を受講生が体系的に理解し、研修を通して自社内における課題を抽出して、その解決に向けたカイゼン活動により「小さな成功」を生み出すことを目的とする。

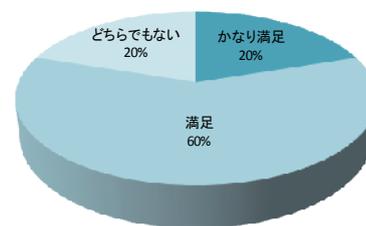
▶ 受講生

- ・ 10名 累計 70名
- ・ 製造業等の現場リーダー層を対象としています

＜受講した企業の業種＞

無線機リース・レンタル、溶接機設計・製造、伸銅品製造、ソファ製造・販売、金属表面処理、工業製品全般塗装、医療機器開発・製造 など

▶ 受講生の満足度



▶ カリキュラム

日程	講義内容
7月下旬～8月下旬	現場訪問 講師（カイゼン・マイスター）による受講企業の現場診断と受講生への事前ヒアリング
9月2日（土）	オリエンテーション カイゼンの全体像（講義） 受講生によるカイゼンテーマ発表、カイゼン活動の目的・カイゼンの全体像に関する講義
9月16日（土）	講義・グループワーク① 「カイゼン活動の進め方」 カイゼン活動の基本的な進め方、カイゼン事例演習
9月28日（木）	現場実習 先端的なカイゼン活動を行っている現場での見学・実習
10月14日（土）	講義・グループワーク② 「品質改善の考え方・手法」 品質管理や品質保証の必要性、QC7つ道具の使い方や品質改善の手法
10月28日（土）	講義・グループワーク③ 「標準作業の概要」 カイゼン活動に必要な標準作業の概要、標準書作成演習
11月25日（土）	カイゼンの振り返りと今後の進め方 スクールの受講期間に実践したカイゼンの取り組みの振り返りと今後の進め方
12月9日（土）	成果発表会 スクール開講時に設定した自社の現場での課題について、その解決に向けた「カイゼン計画書」をスクール受講の成果として各自発表

▶ 修了生の声

- ・ 社内でカイゼン活動を行うとき、今回のようなスクールに参加したことで、「やらされている」という感覚に陥ることなく、リーダーとしての心構えに変わっていききました。
- ・ 普段行っている作業は当たり前のことだと思っていました。ですが、スクールを受講したことで、実はそれは勘違いで、ムダな作業もあったということに気がきました。
- ・ スクールを受講したことにより、カイゼンの進め方、取り組み方、大切さを学ぶことができ、大変役に立ちました。特に、事例を交えた講義は聞き応えがありました。
- ・ カイゼンに関する基本的な知識は、社内で周知されていませんでした。スクールは基本を学ぶにはとてもよい機会だと感じました。



講義

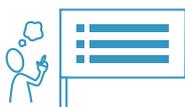


グループワーク



成果発表会

▶ スクールの内容



まずは課題を明確化することから
カイゼン・スクールは、講師による事前の現場診断・ヒアリングによって、自社の課題と解決の方向性を受講生自身で明確化することから始まります。課題を明確にすることにより、スクールに取り組む目的意識も高まります。



活きたカイゼンの考え方と手法を学ぶ
講義では、受講生同士の議論・交流を促すグループワークも取り入れながら、経験豊富な講師陣からカイゼン活動の考え方と手法を学び、設定した課題の解決方法を探ります。また、現場実習では、他社工場のカイゼン活動を活きた教材として、自社ではどのようにカイゼンに取り組んでいくのがよいか、より具体的なヒントが得られます。



カイゼン計画の立案・実行へ

設定した課題の解決に向け、スクールを通して学んだ考え方と手法を取り入れたカイゼン計画を立案・実行し、その成果について最終回で発表します。そして、スクール期間中だけでなく、終了後も、それぞれの現場でカイゼンに取り組んでいただきます。



事前現場診断、講義・現場実習の講師は
(株)カイゼン・マイスターのアドバイザーです。

2-10

人材育成

みんなで一人前の社会人になる研修

事業の目的

同じ地域の他社の新入社員との研修や交流を通じて、同期としての信頼関係の構築を図る。そして、普段の何気ないコミュニケーションを通じて、プラス思考の高いモチベーションを身につけ、定着率の向上、早期の戦力化の実現を目指す。

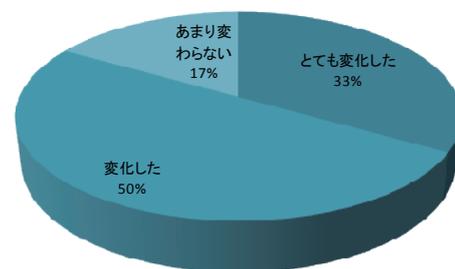
▶ 受講生

- ・ 5名
- ・ 平成 29 年度新入社員を対象としています。

▶ カリキュラム

日程	カリキュラム	情報交換会
4月6日(木)	0.オリエンテーション アイスブレイク、自己紹介、1年目の抱負 1.働くとは?... 学生から社会人へ 社会人としての心得、学校と職場の違いなどの講義を通じて、学生から社会人へと意識を切り替えていただきます。 2.-(マイナス)を+(プラス)に変える発想法① ゲームやグループワークを通じて、多様な価値観の共有と尊重、プラス思考による前向きな推進力を体得していただきます。	○
4月7日(金)	2.-(マイナス)を+(プラス)に変える発想法② ゲームやグループワークを通じて、多様な価値観の共有と尊重、プラス思考による前向きな推進力を体得していただきます。 3.実践! ビジネスマナー 職場での事例をもとにしたロールプレイングを通じて、挨拶、電話対応、名刺交換、メール対応などを実践的に学んでいただきます。	
6月23日(金)	4.「私の会社のイチオシ! ポイント」 自社に対する知識や理解を深め、自社を肯定的に捉え魅力的に伝える力を身につけていただきます。あわせて、「ものごとの見方、捉え方、伝え方」をテーマにワークショップを行います。	○
10月27日(金)	5.先輩社員による「ぶっちゃけトーク」 社会人の先輩の困った体験や良かった体験などをもとに、グループディスカッションを通じて思考を深めていただきます。	○
2月23日(金)	6.決意表明! この1年で得た気づきや学び、2年目に向かっての夢や希望を後輩に対するアドバイス形式で発表していただきます。社長や上司の方にも臨席いただきます。	○

▶ 受講生の満足度



▶ 研修生の声

(二年目への抱負)

- ・ 自分の考え、判断、行動に自信を持てるようになりたい。積極的に行動をする。
- ・ いろいろなことにチャレンジしたい。
- ・ 納期を守れる仕事をできるようにする。スケジュールリングを身につける。



働くとは?... 学生から社会人へ



-(マイナス)を+(プラス)に変える発想法

▶ 研修の様子



2-12

人材育成

SIC アントレ・インターンシップ

事業の目的

さがみはら子どもアントレプレナー体験事業の企画運営を通して、『既成の固定概念に捉われることなく、新たな領域に、自ら考え出したアイデアで、失敗を恐れずに挑戦する気概に溢れた人材』とは何かを理解するとともに、実社会において社会人としてどうあるべきかを学ぶ。

▶ 参加者数 7名 累計139名

▶ 参加者の声（アントレ・インターンを一言で言うと。15期生へのメッセージ）

- ・今の自分に「足りないものは何か」をたくさん教えてくれました。
休日に SIC に行くことは、すっかり生活の一部となりました。たくさんの失敗を経験して、どうすればその場を乗り越えられるか、そのためにすべきことは何かを最優先に考えることができるようになりました。
- ・「ここでしか得られない知識と仲間に巡り合える！」
モチベーションアップ研修やコーチング研修などに参加して、アントレだけでなくこれから先も役立つことを学べたのがとても良かったです。保護者の方からのアンケートで、インターン生に対して予想以上に良い評価を頂けたことが非常に嬉しく、頑張ってたかったと思いました。
- ・「仕事の「厳しさ」「面白さ」、両方を体験できる、そんなインターンシップです！」
このインターンシップに参加して、自分の中で「仕事」に対する考え方が変わりました。自分が得意なこと、興味がある仕事を見つけることができ、とても満足しています。
- ・「一番裁量があって、一番成長できて、一番しんどい」
大学生でありながら、惜しみなく裁量を与えてくれるインターンシップです。やりがいは大変大きいですが、拘束時間も長いです。少しでもできる、やってみたいと感じたら、ぜひ受講される事をお勧めします。

▶ 事業概要

毎年8月に開催する「さがみはら子どもアントレプレナー体験事業」の企画運営を大学生が中心となって行うものです。

	開催日	内容	概要
1	平成29年 6月 10日 (土)	キックオフ	経営者講演、ビジネスマナー研修
2	平成29年 6月 18日 (日)	モチベーションアップ研修	受講生同士のコミュニケーションの促進やチームワークの強化方法について学ぶ
3	平成29年 6月～8月	企画・準備	企画、準備を行う
4	平成29年 7月 9日 (日)	コーチング研修	子どもの考えや思いの引き出し方を学ぶ
5	平成29年 8月 11日 (金) ～13日 (日)	子どもアントレ	小学生に会社経営の疑似体験プログラムを提供する
6	平成29年 10月 13日 (金)	アントレ実施結果報告、修了式	アントレの実施結果を報告



2-13

人材育成

サガツクナビ（地元企業と学生との出会いをつなぐ）

事業の目的

“地元企業の採用の円滑化”と“地元で働きたい学生の就職の円滑化”を目指して、神奈川県県央地域、東京都多摩地域をフィールドに定め、地元企業の魅力を伝えるイベントとインターネットでの企業情報発信の両輪で地元企業と学生の出会いの場を創出し、新卒採用（就職）のサポートをする。

実績

サガツクナビサイトへのアクセス状況：セッション数 14,246、訪問ユーザー数 9,385、ページビュー数 72,425 ページ
 メールマガジン配信回数 42 回（受信者総数 7,095 名：学生 5,434 名、就職課 1,178 名、企業 483 名）
 合同就職説明会 5 回開催、企業 30 社、学生 54 名
 個別相談会 学生 20 名
 企業と学生（教職員）の相互理解サポート 17 回開催、企業 59 社、学生 207 名

情報発信

ウェブサイトやメルマガなどによる情報発信

- ①サガツクナビサイトにて地元企業やイベント情報などを発信
- ②メールマガジン「サガツクナビ通信」の配信
- ③Facebook での情報発信



イベント

<採用&就活サポート>

- ①ジョブミーツ（合同就職説明会）
- ②学内合同説明会（サレジオ高専）
- ③ジョブサポート（充実した就職活動となるよう就活生等に対する個別相談会）



<企業と学生（教職員）の相互理解サポート>

- ①ジョブトーク（学生と企業の交流会）
- ②KAIMAMI シリーズ（自分の知らない世界を垣間見る）
 - サレジオ高専プレインターンセミナー（デザイン学科、電気工学科、情報工学科）
 - ロボット関連企業見学ツアー
 - 地元企業見学ツアー（東京工科大学ロボット研究部、専修大学就職課）
 - 地元就活体験談を聞く会
 - 企業向け勉強会（学生の志向を知る、地元就活の実際を知る）
- ③キャリア支援 4STEP PROGRAM（就活を控えた学生による地元企業見学ツアー）
- ④職種探求セミナー『若手社会人と「はたらく」ことを考えよう』
（社会人の行動や思考などを学ぶ）
- ⑤企業取材（学生目線による地元企業の魅力配信）



2-14

販路開拓

海外販路開拓支援事業（台湾ビジネスサポート事業）

事業の目的

地域企業が継続的に発展するために海外展開をサポートする。海外へ比較的強い販売力を持つ企業が多く、日本とのビジネスの実績が十分にある「台湾」で、或いは台湾経由による中国大陆や東南アジアなどの国々でビジネスを発展・成長させていく。

▶ 事業内容

ツアー

日付：平成 29 年 4 月 24 日～平成 29 年 4 月 26 日

内容：日台ものづくり企業ビジネス交流ツアー 於：台湾（台北・台中・高雄）

個別商談会や台湾の支援機関・企業訪問を実施

<参加企業> 日本企業 4 社 4 名 <商談実績> 計 19 件



個社支援

- 1) 平成 29 年度「日台ものづくり企業ビジネス交流ツアー」参加企業へのフォローアップ
- 2) 日用雑貨輸出販売に向けた台湾展示会出展準備サポート
- 3) 自動車関連部品輸出に向けた市場調査、商談企業探索、商談サポート、商社開拓・紹介、（台湾・中国・独）
- 4) 光電材料関連装置輸出に向けた市場調査、商談企業探索
- 5) 福祉関連用具の台湾販路開拓相談対応
- 6) 台湾企業からコンテナ関連部品の日本国内販売代理店探索相談対応

情報交換会（台湾以外の海外国も含む）

- 1) 台湾手工具工業協会（11社）との意見交換
- 2) 韓国技術ベンチャー財団（韓国スタートアップ企業4社）との意見交換

その他

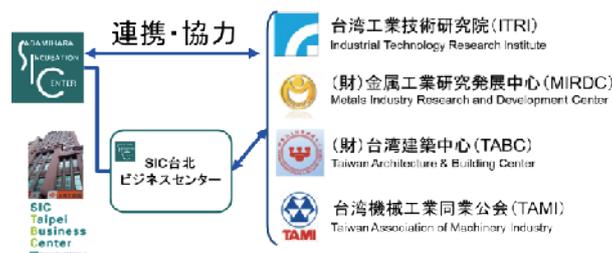
- 1) 台湾工業技術研究院（ITRI）平成 29 年 4 月 26 日に MOU 更新
- 2) 財団法人金属工業研究発展中心（MIRDC）平成 29 年 4 月 25 日に MOU 更新



▶ 顧客の声

- ・受託開発や OEM 生産、販路開拓など受発注先が見つかった。
- ・大手企業との提携を実現できた。
- ・海外現地法人を設立するきっかけづくりになった。
- ・素早い意思決定や行動力とそれを実現する組織づくりの重要性を知った。
- ・自社の技術や製品が海外でも十分に通用することが分かった。

▶ 運営体制



その他、独自のネットワークを活用

3-1

さがみはら産業創造センターの歩み

1998年度 (平成10年度)	<ul style="list-style-type: none"> ・検討会の提言…市内の若手経営者、相模原市などの若手スタッフによる検討会が相模原市にセンター整備を提言
1999年度 (平成11年度)	<ul style="list-style-type: none"> ・会社設立…相模原市、相模原商工会議所及び新事業創出促進法に基き地域振興整備公団（現中小企業基盤整備機構）が出資し会社設立 ・増資…地元企業や地域金融機関などが出資 ・第1回女性起業家育成セミナー開催
2000年度 (平成12年度)	<ul style="list-style-type: none"> ・S I C-1（インキュベーションセンター）オープン ・第1回ビジネスプランコンテスト開催
2001年度 (平成13年度)	<ul style="list-style-type: none"> ・第1回さがみはら子どもアントレプレナー体験事業開催 ・増資…相模原市、地域振興整備公団（現中小企業基盤整備機構）、地元企業が出資
2002年度 (平成14年度)	<ul style="list-style-type: none"> ・S I C-2（ポストインキュベーションセンター）オープン ・女子美術大学と「ヒューマンデザイン開発支援事業」に関する協定を締結、中小企業のデザインを支援するデザイン開発支援事業を開始 ・経済産業省から「即効型地域新生コンソーシアム事業」を受託 ・第1回「S I C経営塾」開講
2003年度 (平成15年度)	<ul style="list-style-type: none"> ・職業能力開発総合大学校と「地域企業活性化支援事業」に関する協定を締結 ・八千代銀行（2018年5月よりきらぼし銀行）と「起業家支援事業」に関する協定を締結 ・地域企業450社の実態調査を実施
2004年度 (平成16年度)	<ul style="list-style-type: none"> ・神奈川工科大学と「産学連携事業」に関する協定を締結 ・第1回「S I Cアントレ・インターンシップ」開講 ・かわらばん（入居企業版）創刊号発行
2005年度 (平成17年度)	<ul style="list-style-type: none"> ・S I C 1号投資事業有限責任組合（S I Cファンド）を組成 ・神奈川県「新産業創出拠点形成促進事業」を受託 ・S I C 燃料電池研究会が発足 ・第1回SIC起業家塾開講
2006年度 (平成18年度)	<ul style="list-style-type: none"> ・相模原市から「首都圏南西地域産業活性化フォーラム」の運営を受託
2007年度 (平成19年度)	<ul style="list-style-type: none"> ・第1回職場リーダー塾開講 ・SPS研究会が発足
2008年度 (平成20年度)	<ul style="list-style-type: none"> ・株式会社カイゼン・マイスターと業務提携し、地元企業向けのカイゼン支援を開始 ・かわらばん（地域企業版）創刊号発行
2009年度 (平成21年度)	<ul style="list-style-type: none"> ・さがみはら企業力支援事業を開始、併せてメンター（経営指導者）制度を創設 ・緊急雇用事業を相模原市から受託し、大規模な市内企業実態調査や産業界の人づくり支援事業などの人材育成に取り組む ・経済産業省から「低炭素社会に向けた技術発掘・社会システム実証モデル事業」を受託
2010年度 (平成22年度)	<ul style="list-style-type: none"> ・さがみはら表面技術研究所オープン ・インキュベーション型シェアードオフィス「DESK@」オープン ・第1回台湾ビジネスマッチングを開催
2011年度 (平成23年度)	<ul style="list-style-type: none"> ・台湾工業技術研究院 (ITRI) と連携協定を締結 ・S I C-3（イノベーションラボ）オープン ・S I C台湾ビジネスセンターオープン ・経済産業省「戦略的基盤技術高度化支援事業」を受託 ・企業紹介冊子「おもしろ企業の魅力拝見！」出版 ・地域発信冊子「葦尾根のブルーベリー」発行
2012年度 (平成24年度)	<ul style="list-style-type: none"> ・神奈川県「かながわ環境関連産業ネットワーク事業」等を受託 ・経済産業省「高度実践型支援人材育成事業」を受託 ・インキュベーションセンター「T-B I S C」、「M B D A」の計画・運営サポートを受託 ・第1回SICカイゼン研究会開講 ・第1回南西フォーラムビジネスマッチング開催
2013年度 (平成25年度)	<ul style="list-style-type: none"> ・財団法人台湾建築中心と連携協定締結 ・財団法人金属工業研究発展中心 (MIRDC) と連携協定締結
2014年度 (平成26年度)	<ul style="list-style-type: none"> ・地域密着型就職支援事業「サガツク」を開始 ・全国中小企業団体中央会 「ものづくり中小企業・小規模事業者連携支援事業」受託 ・神奈川県「ロボット実証実験支援事業」重点プロジェクト事業受託
2015年度 (平成27年度)	<ul style="list-style-type: none"> ・相模原市から産業用ロボット導入支援事業を受託し、さがみはらロボット導入支援センターをオープン ・神奈川県「成長産業育成支援事業」受託
2016年度 (平成28年度)	<ul style="list-style-type: none"> ・「みんなで一人前の社会人になる研修」を開始 ・地方創生交付金計画で相模原市と連携する大和市・座間市・寒川町から産業用ロボット導入支援事業を受託 ・綾瀬市商工会からビジネスマッチング事業を受託
2017年度 (平成29年度)	<ul style="list-style-type: none"> ・神奈川県「成長ベンチャー情報発信事業」受託 ・台湾工業技術研究院 (ITRI)、財団法人金属工業研究発展中心 (MIRDC) 連携協定更新

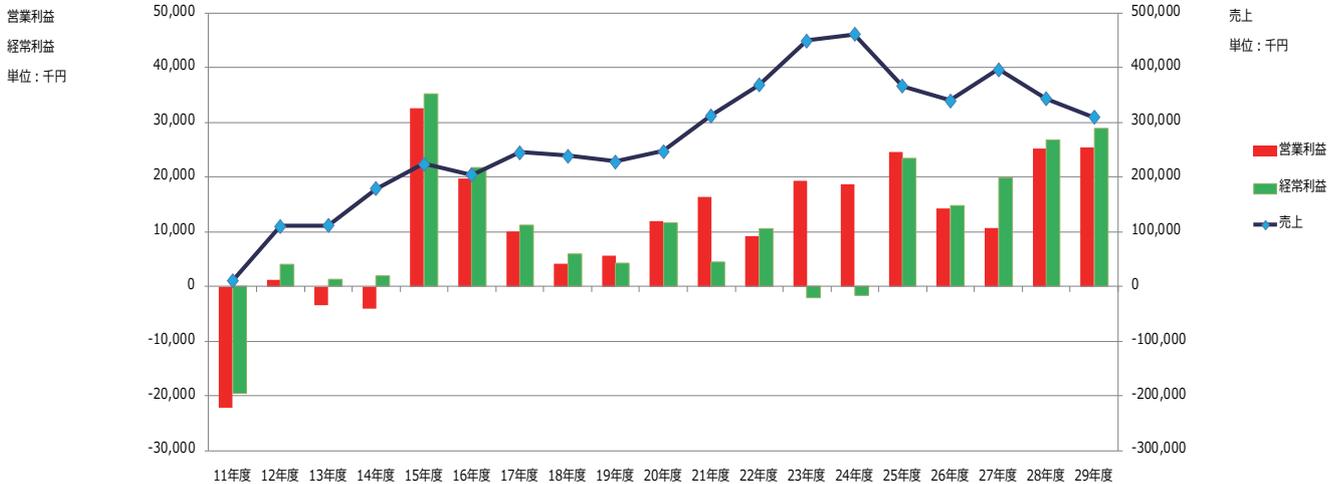
3-2

主な事業と開始年度（カテゴリー別）

年度	ラボ・オフィス	経営サポート	技術開発	人材育成	資金調達	販路開拓
1999年度 (平成11年度)		・ビジネスプランコンテスト	・新規成長産業連携支援事業	・女性起業家育成セミナー		
2000年度 (平成12年度)	SIC-1 オープン	・株式公開塾 ・入居企業セミナー	・中小企業のための技術セミナー			
2001年度 (平成13年度)			・ミニコンソーシアム事業	・さがみはら子どもアントレプレナー体験事業(小学生)		
2002年度 (平成14年度)	SIC-2 オープン	・アントレフォスター事業 ・中小企業のデザイン開発支援	・経済産業省「即効型地域新生コンソーシアム」受託	・SIC経営塾・さがみはら子どもアントレプレナー体験事業(中学生)		・KSPベンチャーマッチング商談会に参画
2003年度 (平成15年度)		・八千代起業家支援プログラム ・地域企業実態調査(450社)	・大学シーズ調査	・SIC経営者セミナー		
2004年度 (平成16年度)		・さがみはら青年アントレプレナープロデュース事業 ・かわらばん(入居企業版)創刊号発行	・新技術創造研究会	・SICアントレ・インターン		
2005年度 (平成17年度)			・神奈川県「新産業創出拠点形成促進事業」受託 ・燃料電池研究会発足	・SIC起業家塾	・SIC1号投資事業 有限責任組合組成	
2006年度 (平成18年度)		・チャレンジショップ	・「首都圏南西地域産業活性化フォーラム」受託	・SIC起業家育成大学校	・入居企業4社、地域企業3社に出資	
2007年度 (平成19年度)			・SPS研究会	・SIC職場リーダー養成塾	・入居企業1社、地域企業2社に出資	
2008年度 (平成20年度)		・中小企業のカイゼン活動支援 ・かわらばん(地域企業版)創刊号発行	・実用化開発支援		・入居企業1社に出資	・SICテクノロジーマッチング ・KSP協創マッチングフォーラムに参画
2009年度 (平成21年度)		・メンター制度 ・さがみはら企業力支援事業 ・地域企業実態調査(500社)	・経済産業省「低炭素社会に向けた技術発掘・社会システム実証モデル事業」受託	・地域産業界の人づくり支援事業 ・さがみはら未来塾 ・ベンチャー・中小企業人材確保支援事業		
2010年度 (平成22年度)	DESK® オープン	・ソーシャルビジネス創育支援事業	・高度研究人材活用事業(さがみはら表面技術研究所) ・神奈川県バイオベンチャー人材活用事業			・台湾ビジネスマッチング開催 ・川崎市産業振興財団新事業マッチングフォーラム参画
2011年度 (平成23年度)	SIC-3 オープン	・企業紹介冊子「おもしろ企業の魅力発見！」出版 ・地域発信冊子「葎尾根のブルーベリー」発行	・経済産業省「戦略的基盤技術高度化支援事業」受託 ・新製品開発のための「協創プロジェクト」 ・相模原市から「新技術実用化コンソーシアム形成支援事業」受託	・ISB公共未来塾		・台湾工業技術研究院と協定 ・SIC台湾ビジネスセンターオープン
2012年度 (平成24年度)	「T-BISC」、 「MBDA」 の計画・運営サポート	・地域発信冊子「里山コミュニティ」発行 ・企業紹介冊子「い〜コトなび」発行	・神奈川県「かながわ環境関連産業ネットワーク事業」受託	・SICカイゼン研究会 ・経済産業省「高度実践型支援人材育成事業」 ・女性力発揮セミナー ・子どもワークショップ ・SICカイゼンスクール		・日本台湾アライアンスセミナー ・南西フォーラムビジネスマッチング
2013年度 (平成25年度)			・可搬型燃料電池・飲料水供給装置の開発			・財団法人台湾建築中心、財団法人金属工業研究発展中心と連携協定を締結 ・日台環境・建築ビジネスマッチングを開催
2014年度 (平成26年度)			・全国中小企業団体中央会「ものづくり中小企業・規模事業者連携支援事業」 ・神奈川県「ロボット実証実験支援事業」重点プロジェクト事業	・「サガツクナビ」ポータルサイト		
2015年度 (平成27年度)			・相模原市「産業用ロボット導入支援事業」「コンソーシアム加速化支援事業」受託 ・神奈川県「成長産業育成支援事業」受託			
2016年度 (平成28年度)				・「みんなで一人前の社会人になる研修」	・SIC1号投資事業有限責任組合解散	
2017年度 (平成29年度)			・神奈川県「成長ベンチャー情報発信事業」受託			・日台ものづくり 企業ビジネス交流ツアー

3-3 財務状況

P/L推移

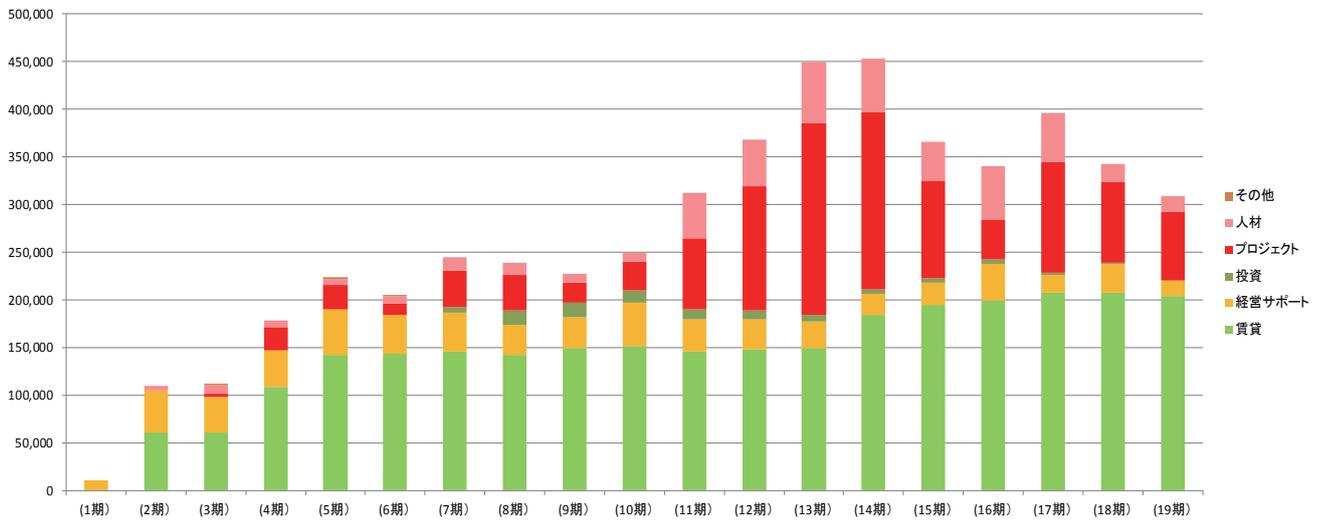


単位：千円

	11年度 (1期)	12年度 (2期)	13年度 (3期)	14年度 (4期)	15年度 (5期)	16年度 (6期)	17年度 (7期)	18年度 (8期)	19年度 (9期)	20年度 (10期)	21年度 (11期)	22年度 (12期)	23年度 (13期)	24年度 (14期)	25年度 (15期)	26年度 (16期)	27年度 (17期)	28年度 (18期)	29年度 (19期)
売上	10,429	110,264	111,008	178,323	224,271	204,022	244,523	238,812	227,805	247,560	311,824	368,145	449,221	452,739	365,658	339,759	396,465	342,657	309,168
営業利益	-22,122	1,257	-3,455	-4,101	32,523	19,804	9,914	4,219	5,620	11,946	16,397	9,080	19,283	18,649	24,640	14,298	10,548	25,278	25,445
経常利益	-19,522	3,922	1,256	1,817	35,141	21,656	11,200	5,910	4,242	11,604	4,514	10,568	-2,082	-1,641	23,436	14,711	19,727	26,860	28,937

事業別売上高の推移

単位：千円



単位：千円

	11年度 (1期)	12年度 (2期)	13年度 (3期)	14年度 (4期)	15年度 (5期)	16年度 (6期)	17年度 (7期)	18年度 (8期)	19年度 (9期)	20年度 (10期)	21年度 (11期)	22年度 (12期)	23年度 (13期)	24年度 (14期)	25年度 (15期)	26年度 (16期)	27年度 (17期)	28年度 (18期)	29年度 (19期)
貸貨	0	60,473	60,622	108,655	142,026	143,982	145,990	142,525	148,914	151,930	145,552	147,969	148,705	184,290	195,181	199,726	207,547	207,790	204,049
経営サポート	10,429	44,344	37,125	38,379	48,475	39,669	40,038	30,769	32,709	45,225	34,042	31,402	28,039	21,837	22,348	38,000	18,204	30,010	15,758
投資	0	0	0	0	0	0	6,250	15,000	15,000	12,915	9,999	10,000	7,917	5,000	5,000	5,000	3,250	750	0
プロジェクト	0	0	4,130	24,713	24,744	12,530	38,545	37,595	21,655	30,258	74,868	130,200	201,456	185,723	102,340	41,195	116,116	85,967	72,519
人材	0	5,447	8,629	6,576	6,785	7,809	13,699	12,922	9,525	8,969	47,363	48,574	63,105	55,889	40,788	55,837	51,349	18,140	16,841
その他	0	0	502	0	2,240	32	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
売上合計	10,429	110,264	111,008	178,323	224,271	204,022	244,523	238,812	227,805	247,560	311,824	368,145	449,222	452,739	365,658	339,759	396,466	342,657	309,168

3-4

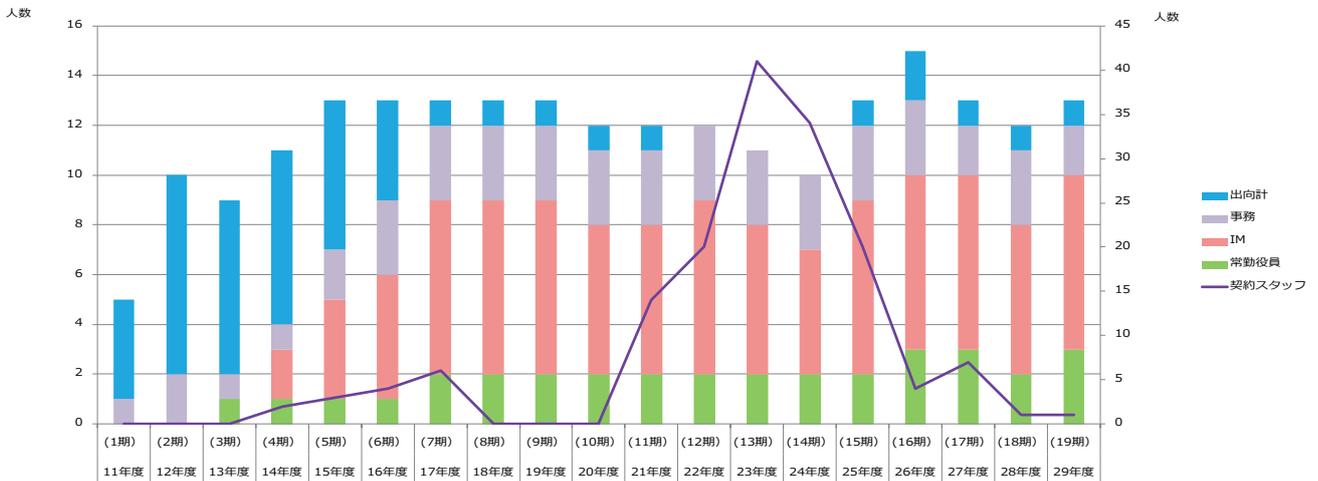
競争的資金の獲得

単位：千円

年度	資金獲得先	事業名	資金額
平成14年度	経済産業省	即効型地域新生コンソーシアム研究開発事業 「次世代デバイス用超高精度ナノレベル研磨・洗浄複合装置の開発」	40,000
平成17年度	神奈川県	新産業創出拠点形成促進事業 「燃料電池システムにおける本体及び周辺機器・部品の開発」	20,000
平成18年度	神奈川県	新産業創出拠点形成促進事業 「燃料電池システムにおける本体及び周辺機器・部品の開発」	22,000
平成20年度	中小機構	川上川下ネットワーク構築支援事業 「次世代エネルギーシステムの早期実用化ネットワーク構築」 新現役チャレンジ支援事業 「新現役人材による中小企業支援のモデル事業としてカイゼン支援プログラム開発」 ビジネス・インキュベータ（BI）における広域的ネットワーク構築の調査事業 「グループインキュベーション」手法の開発と検証ーネットワークによる支援と手法のネットワーク化ー	25,600
	神奈川県	ベンチャー創出促進モデルプロジェクト事業 「動物病院医療市場を対象とした犬のアレルギー及び免疫検査受託事業」 「静電エンコーダの事業化」	
平成21年度	経済産業省	低炭素社会に向けた技術発掘・社会システム実証モデル事業 「太陽光雨水などの自然の恵みを有効活用した安全・安心な低炭素社会システムの構築」	64,000
平成22年度	経済産業省	中小企業海外販路開拓支援事業（台湾ビジネスマッチング） 「神奈川県ビジネス・インキュベータ連携によるIT/エレクトロニクス分野 研究関連型ベンチャー企業の海外販路支援事業」	11,500
平成23年度	経済産業省	戦略的基盤技術高度化支援事業 「次世代パワーデバイス向け革新的手法を用いた成膜技術の開発」	7,000
	中小機構	BIネットワーク構築事業 「T-BISCの整備に協調・連携した国内外ビジネスマッチング事業」	
	神奈川県	新産業ベンチャー事業化支援事業 「生物機能制御・改善のための体内時計調節剤及び関連試薬の開発」	
	相模原市	新技術実用化コンソーシアム形成支援事業 「表面形状を制御した低摺動医療用機能部品の要素開発」	
平成24年度	経済産業省	戦略的基盤技術高度化支援事業 「次世代パワーデバイス向け革新的手法を用いた成膜技術の開発」 高度実践型支援人材育成事業	101,700
	神奈川県	かながわ環境関連産業ネットワーク事業 かながわエネルギー関連ベンチャーマッチング・パートナーリング支援事業	
	相模原市	新技術実用化コンソーシアム形成支援事業 「表面形状を制御した低摺動医療用機能部品の要素開発」	
	神奈川県	かながわ環境関連産業ネットワーク事業	
平成25年度	相模原市	新技術実用化コンソーシアム形成事業 「表面形状を制御した医療用機能部品の要素開発」	8,000
平成26年度	神奈川県	かながわ環境関連産業ネットワーク事業 かながわ成長産業イノベーション事業	33,900
	相模原市	新技術実用化コンソーシアム形成事業 「ハーブ等植物の家庭用高効率栽培システムの開発」	
平成27年度	神奈川県	かながわ環境関連産業ネットワーク事業 かながわ成長産業育成支援事業	21,470
	相模原市	新技術実用化コンソーシアム形成支援事業 「ハーブ等植物の家庭用高効率栽培システムの開発」 コンソーシアム加速化支援事業	
平成28年度	神奈川県	かながわ環境関連産業ネットワーク事業 かながわ成長産業育成支援事業	17,770
	相模原市	新技術実用化コンソーシアム形成支援事業 「商店街の安全性向上・活性化を目指したハイパー自販機の開発」	
平成29年度	神奈川県	成長ベンチャー情報発信事業 「エネルギー及びIT分野」	6,480
	相模原市	新技術実用化コンソーシアム形成支援事業 「商店街の安全性向上・活性化を目指したハイパー自販機の開発」	

3-5

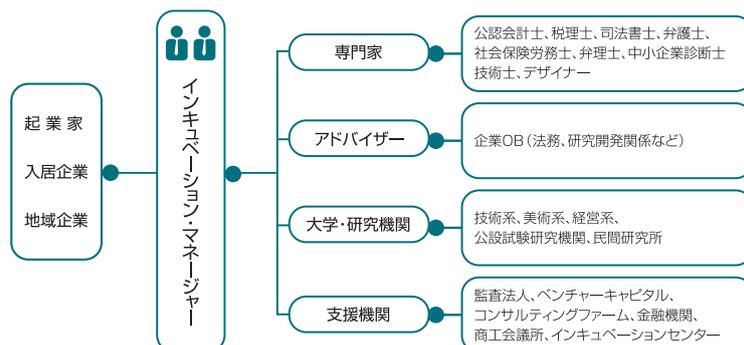
スタッフ数の変遷



	11年度 (1期)	12年度 (2期)	13年度 (3期)	14年度 (4期)	15年度 (5期)	16年度 (6期)	17年度 (7期)	18年度 (8期)	19年度 (9期)	20年度 (10期)	21年度 (11期)	22年度 (12期)	23年度 (13期)	24年度 (14期)	25年度 (15期)	26年度 (16期)	27年度 (17期)	28年度 (18期)	29年度 (19期)
常勤役員	0	0	1	1	1	1	2	2	2	2	2	2	2	2	2	3	3	2	3
非常勤役員	13	13	13	13	15	15	13	12	11	10	10	10	11	11	12	13	12	12	12
IM	0	0	0	2	4	5	7	7	7	6	6	7	6	5	7	7	7	6	7
事務	1	2	1	1	2	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	2	3	2
相模原市から出向	3	5	5	4	4	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
中小機構からの出向	0	0	1	1	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
銀行からの出向	1	3	1	2	1	1	1	1	1	1	1	0	0	0	1	2	1	1	1
出向計	4	8	7	7	6	4	1	1	1	1	1	0	0	0	1	2	1	1	1
計	5	10	8	10	12	12	11	11	11	10	10	10	9	8	11	12	12	10	10
契約スタッフ	0	0	0	2	3	4	6	0	0	0	14	20	41	34	20	4	7	1	1
パートタイマー	0	1	1	4	2	2	4	3	1	1	1	1	3	3	3	4	3	3	5

3-6

支援ネットワーク



3-7

視察・研修

平成 29 年度 国内

名 称
視 察
南相馬市、連合神奈川、各務原市、神奈川県医療機器工業会、岩手県奥州市、 長崎県産業振興財団、加賀市、日本バリュー・エンジニアリング協会、 滋賀県産業支援プラザ、韓国創業振興院
研 修
I M養成研修 インキュベータ実習

海外

年 度	名 称	
平成 17 年度	チュニジアベンチャーキャピタル協会 海外技術者研修	チュニジア アジア、アフリカ諸国
平成 19 年度	集団研修地方自治体による民間産業活性化セミナー（JICA） モンゴル中小企業振興研修	アジア、アフリカ、中東、中南米諸国 モンゴル
平成 20 年度	集団研修地方自治体による民間産業活性化セミナー（JICA）	アジア、オセアニア、アフリカ諸国
平成 21 年度	集団研修地方自治体による民間産業活性化セミナー（JICA） 韓国インキュベーションスタッフ研修	アジア、オセアニア、アフリカ諸国 韓国
平成 22 年度	オマーン技術大学指導員研修 無錫市政府 マレーシア国職業訓練校指導員研修	オマーン 中国 マレーシア
平成 23 年度	工業技術研究院 中国山東省（対日投資）視察団	台湾 中国
平成 24 年度	中小企業支援法制度検討視察（JICA） 国際企業人材育成センター日本語プログラム研修 （台湾貿易センター）	ベトナム 台湾
平成 25 年度	アフリカ地域女性起業家支援セミナー（JICA） 台湾工業技術研究院 産業経済與趨勢研究中心	アフリカ諸国 台湾
平成 26 年度	シンガポール国立大学	シンガポール
平成 27 年度	法政大学（欧州産学連携研究者視察団）、トロント市議会 中国 無錫市、韓国技術ベンチャー財団 行政院世界企業誘致総合サービスセンター、工業技術研究院 台北市コンピュータ協会 アメリカ オースティンアジア商工会、タイ対日技術振興協会	欧州、カナダ 中国、韓国 台湾 台湾 アメリカ、タイ
平成 28 年度	スリランカソフトウェアサービス協会	スリランカ
平成 29 年度	台湾手工具工業同業公会 韓国生産性本部、韓国技術ベンチャー財団・企業、 韓国創業振興院 ドイツロボット関連企業視察団、JETROトロント 中国ロボット関連企業視察団	台湾 韓国 ドイツ、カナダ 中国

3-8

新聞掲載 (29年度)

年月日	新聞名	表 題
2017.04.10	相模経済新聞	三セク先進事例公益性など評価
2017.04.13	日刊工業新聞	三セク改革先進事例集 総務省が SIC 選定
2017.04.20	相模経済新聞	SIC 公共性と公益性を評価 総務省が選ぶ先進事例に
2017.04.28	日刊工業新聞	中小向けロボ拡充 相模原市の導入支援センター 川重製 2 台導入
2017.05.01	広報さがみはら	SIC アントレ・インターンシップ
2017.05.10	相模経済新聞	ロボで地方創成 南西フォーラム
2017.05.10	経済日報 (台湾) Web	台日育成交流 共創企業商機
2017.06.01	広報さがみはら	子どもアントレ体験キャンプ
2017.07.25	日刊工業新聞	情報フラッシュ カイゼン手法セミ
2017.10.01	相模経済新聞	ジェットロとセミナー開く 海外展開のポイント紹介
2017.10.27	日刊工業新聞	情報フラッシュ 産業用ロボットビジネスフォーラム
2017.10.31	日刊工業新聞	情報フラッシュ 首都圏南西地域産業活性化フォーラム
2017.12.10	かながわ経済新聞	産業ロボでフォーラム 関心高く定員上回る
2017.12.12	東京新聞 Web	地域の情報を電子掲示板で JR 淵野辺駅北口で 18 日から実証実験
2017.12.14	毎日新聞 Web	電子看板 実証実験 商店、イベント、防災情報など放映
2017.12.14	タウンニュース Web	電子看板で注視率調査 集客・賑わいづくりに活用
2018.03.16	日刊工業新聞	産業集積形成は新たな局面へ さがみはらロボット導入支援センター

3-9

広報紙 「かわらばん」の発行

▶ SICかわらばん（入居企業版） 内容：入居企業紹介、セミナー等情報提供等

入居企業様と入居企業様そして当センターとのコミュニケーションの促進を図る為に、新しく入居された企業様のご紹介や入居企業交流会、当センターの開催事業、施設関係の細やかなご案内など、当センターでより快適にご入居頂ける事を目的に毎月発行しています。

発行No.	発行日	紹介企業名（入居企業）他
No. 155	平成 29 年 4 月 3 日	アルセンス株式会社
No. 156	平成 29 年 5 月 1 日	ケー・ティー・エムツール株式会社
No. 157	平成 29 年 6 月 1 日	マイクロエッチプロセス株式会社
No. 158	平成 29 年 7 月 3 日	ノーベルファーマ株式会社
No. 159	平成 29 年 8 月 1 日	合同会社エスティ企画
No. 160	平成 29 年 9 月 1 日	イノウエ株式会社
No. 161	平成 29 年 10 月 2 日	ハイテクインター株式会社
No. 162	平成 29 年 11 月 1 日	東邦電子株式会社
No. 163	平成 29 年 12 月 1 日	株式会社アド・ソアー
No. 164	平成 30 年 1 月 5 日	新年のご挨拶
No. 165	平成 30 年 2 月 1 日	A I M W O R K S
No. 166	平成 30 年 3 月 1 日	株式会社 Japan Spherical Theory



▶ SICかわらばん（地域企業版） 内容：地域企業紹介、入居企業紹介、特集記事、セミナー等情報提供、地元紹介等

地域企業様と当センター、地域企業様と入居企業様、地域企業様と地域企業様を繋ぐコミュニケーションツールとして、入居企業様や地域企業様に親しまれ、企業の皆さまにより良い情報をお届けすることを目的に隔月発行しています。

発行No.	発行日	紹介企業名（地域企業）	紹介企業名（入居企業）	企画ページ
No. 49	平成 29 年 5 月 15 日	齊藤精機株式会社	インタープロテイン株式会社	企業をサポートし隊 第1回 "インキュベーション"
No. 50	平成 29 年 7 月 18 日	株式会社第五電子工業	株式会社 ER SYSTEMS	企業をサポートし隊 第2回 "インキュベーションマネージャー"
No. 51	平成 29 年 9 月 15 日	株式会社栄和産業	株式会社オプトデザイン	企業をサポートし隊 第3回 "SIC経営塾"
No. 52	平成 29 年 11 月 15 日	株式会社橋本熱処理	三立工業株式会社	企業をサポートし隊 第4回 "SIC職場リーダー養成塾"
No. 53	平成 30 年 1 月 15 日	大沢工業株式会社	株式会社 H K T	年頭挨拶
No. 54	平成 30 年 3 月 15 日	株式会社むつみ工業	株式会社ケー・ティー・エムツール	企業をサポートし隊 第5回 "カイゼン・スクール"



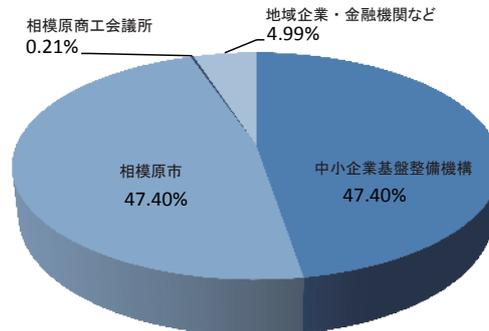
3-10

株主と役員

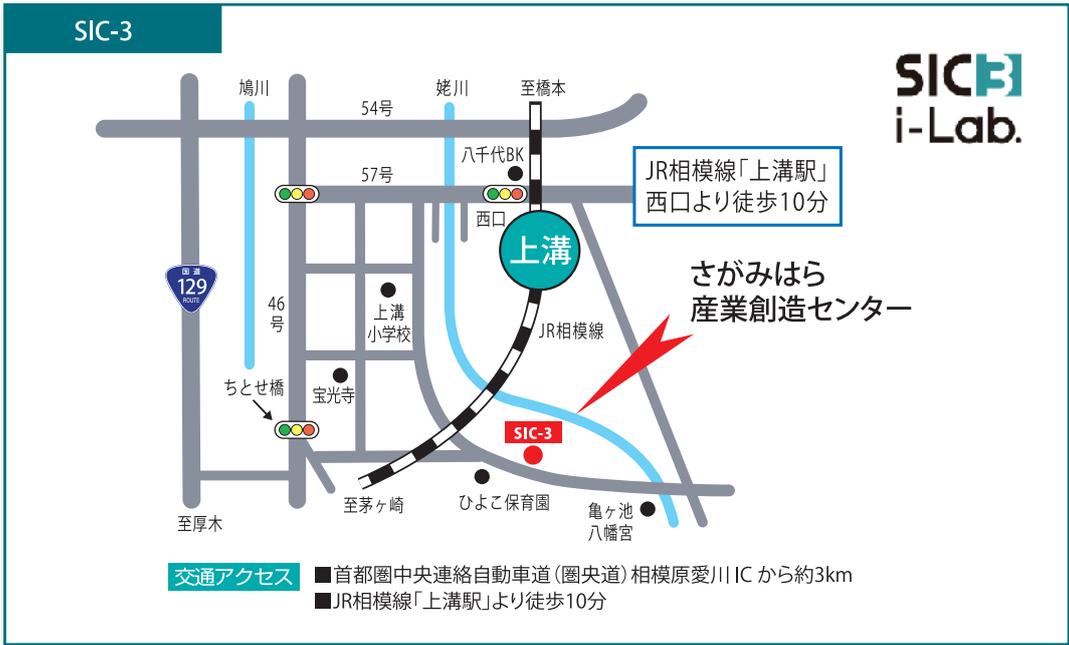
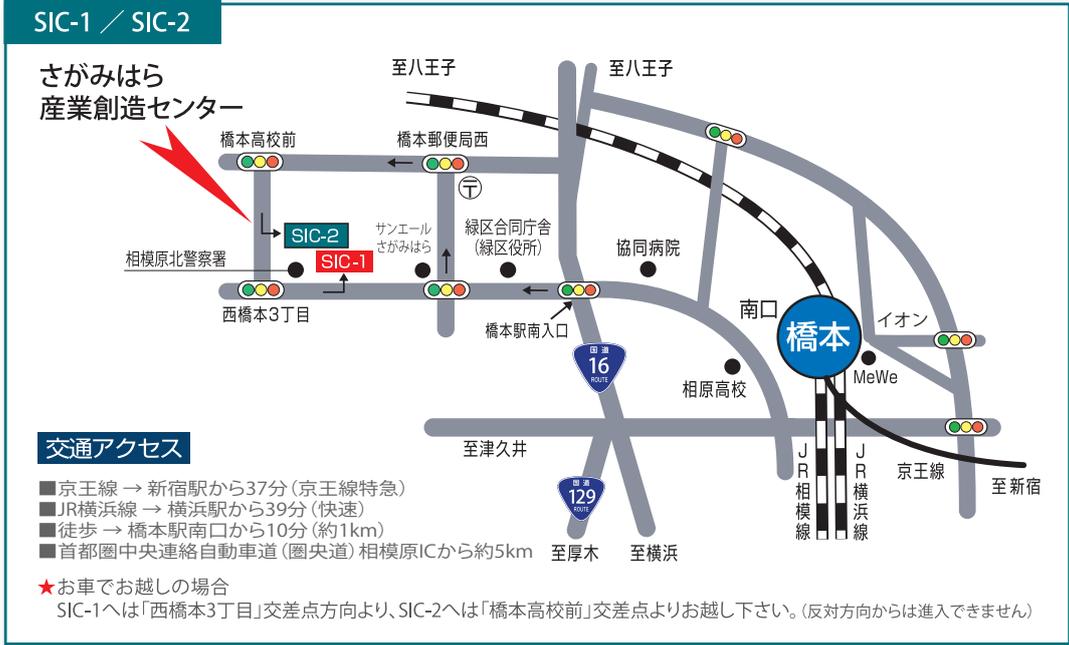
株主数：31 者 発行済株式の総数：47,890 株 資本金：23 億 9,450 万円

相模原市	独立行政法人中小企業基盤整備機構
株式会社ボイス	株式会社ハリマビシステム
古木建設株式会社	株式会社八千代銀行
株式会社横浜銀行	西武信用金庫
湘南デザイン株式会社	株式会社三菱東京UFJ銀行
相模原商工会議所	日本テクノ株式会社
城山工業株式会社	日本電子工業株式会社
三菱重工エンジン&ターボチャージャ株式会社	権田金属工業株式会社
株式会社相模運輸	相模原市農業協同組合
相模ガス株式会社	株式会社昭和真空
株式会社ア・ドマニー	篠崎電業株式会社
タイヨー印刷株式会社	東京海上日動火災保険株式会社
東邦電子株式会社	野村 隆
ブックオフコーポレーション株式会社	アイシンク株式会社
Apex 株式会社	

構成割合



代表取締役 取締役	橋元 雅敏	
	安藤 重夫	
	吉田 修一	(株式会社相模運輸 代表取締役)
	山崎 利宏	(城山工業株式会社 代表取締役)
	西澤 勇司	(株式会社キャロットシステムズ 代表取締役)
	杉本 祥一	(株式会社ハイスポット 代表取締役)
	古橋 裕一	(相陽建設株式会社 代表取締役)
	早川 正彦	(有限会社早川銘板製作所 代表取締役)
	中島 伸幸	(相模原市 環境経済局 経済部長)
	久保田 修	(相模原商工会議所 中小企業振興部長)
監査役	石川 幸二	
	原田 恒敏	(公認会計士原田恒敏事務所 代表)
	平田 光子	(日本大学 生産工学部 マネジメント工学科/生産工学研究科 教授)
	山下 明良	(株式会社横浜銀行 相模原駅前支店長)
	佐々木 一彦	(株式会社八千代銀行 相模原法人営業部 部長)



株式会社さがみはら産業創造センター
Sagamihara Incubation Center Ltd. (SIC)

SIC-1 / SIC-2

〒252-0131 神奈川県相模原市緑区西橋本5-4-21

SIC-3

〒252-0243 神奈川県相模原市中央区上溝1880番-2

Tel:042-770-9119(代) Fax:042-770-9077

URL <http://www.sic-sagamihara.jp>